

# 令和7年度

## 益田市 20地区取組状況

20地区の取組を  
まるごと紹介！



# 島根県益田市益田地区

地域づくりのテーマ：『ひと・まち・歴史の鼓動を感じるまち』



## ①地区の概要

【地区の現況】(令和7年12月末現在)

28自治会 2,745世帯 人口 5,506人 高齢化率 35.0%

## 【地区の魅力】

益田地区は、中世鎌倉時代から戦国時代まで益田氏の城下町として栄え、歴史・文化遺産の多い地区で「七尾城跡」「三宅御土居」や名勝雪舟庭園2カ所を含めた12の日本遺産構成文化財がある。また、警察署や県合同庁舎などの公的機関があるほか、高等学校が3校、高等看護学院がある文教地区でもあります。

## 【地区の課題】

- 人口減少及び高齢化
- 商店の減少
- 自治会役員の担い手不足、伝統行事の後継者不足
- 地区の歴史・文化に対する認識不足

## ②実施団体の概要

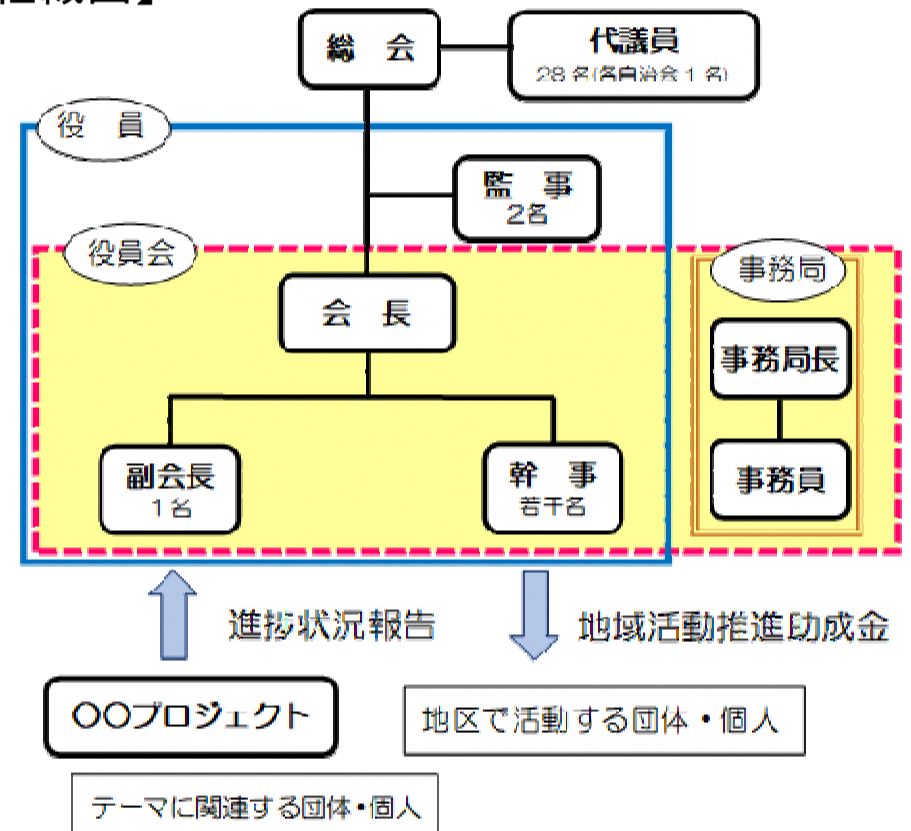
### 【団体の名称】

ますだ地域づくり協議会 (R01.09.01設立)

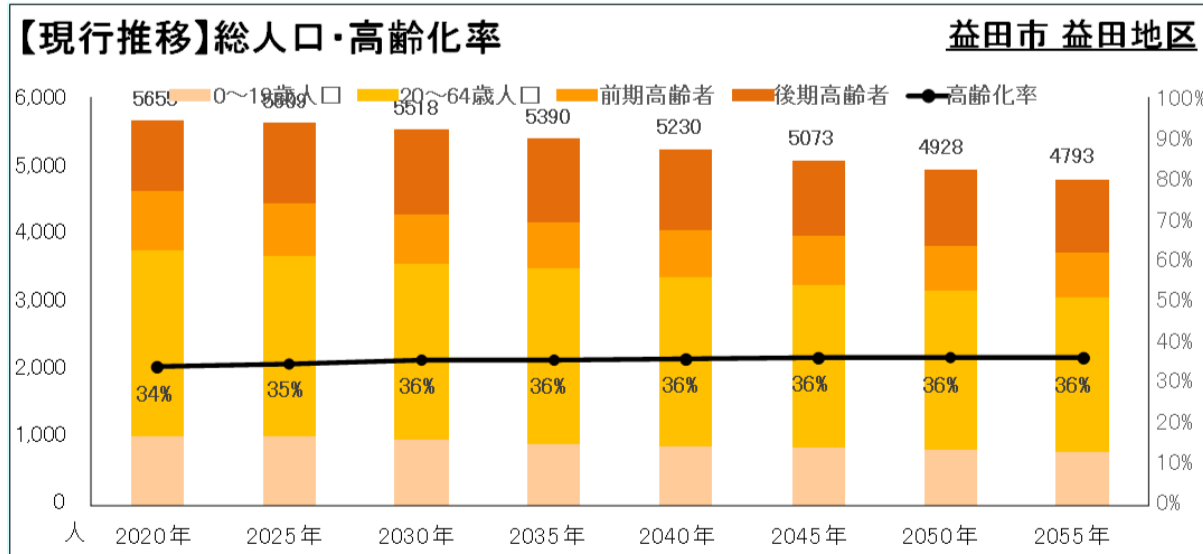
### 【役員・部会員選出団体等】

- 益田地区自治会連合会
- 益田地区社会福祉協議会
- 益田地区民生児童委員協議会
- 益田商店会
- 益田小学校PTA
- 益田東中学校PTA
- 益田地区老人クラブ連合会
- 益田地区つろうて子育て協議会
- 生き生き益田の会
- 消防団益田第1分団
- 益田地区食生活改善推進協議会
- 地区住民

### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

### ○プロジェクト事業

「子どもを核としたつながりプロジェクト」事業の推進

### ○地域活動推進助成金制度

#### ◇地域活動推進助成金

地区内で活動する団体や個人の、益田地区が目指す将来像(まちづくりビジョン)に沿った活動に対し助成する。

#### ◇新しいチャレンジ応援補助金

市の補助金を活用した事業の支援

- ①まちづくり活動特別補助金
- ②協働のまちづくり事業補助金



### 【団体長メッセージ】

今年度より会長に就任する事になりました。田原裕司と申します。

ますだ地域づくり協議会は事業体制を再編し、プロジェクト事業と地域活動推進助成金・新しいチャレンジ応援補助金制度を活用しながら、地域のみなさまとのつながりを大切に、協働し合える新たなまちづくりを進めています。

ますだ地域づくり協議会 会長 田原 裕司

# 島根県益田市益田地区

## ⑤こんなことが話し合われています



### 定期総会

前年度事業報告、収支報告、まちづくりプラン、規約の改正、役員改選、今年度の事業計画、収支予算などについて確認・承認を行っている。



### プロジェクト事業

今年度から始まったプロジェクト事業だが、今年度は「子どもを核としたつながりプロジェクト」をテーマに関連する団体などに集ってもらい、グループワークや各団体の年間事業などの情報共有会を行っている。



### 役員会

プロジェクト事業、地域活動推進助成金制度に関する意見交換や、運営に関する実務について協議・調整を行っている。



## ⑥こんな地域づくりを行なっています

### 地域活動推進助成金事業



益田川土手景観試験活動



住吉神社“池”そうじ大作戦



プレーパークin校庭  
～巨大シャボン玉を飛ばそう～



ますだ秋まつり



ますだ地域食堂



つろうて来んちやいデー

お問い合わせ先

〒698-0005  
益田市本町3番15号

ますだ地域づくり協議会(益田公民館内)  
Tel. Fax 23-5752(益田公民館)  
URL: <https://www.masuda-tiikidukuri.com/>



# 島根県益田市吉田地区

地域づくりのテーマ: 元気いっぱいひとがつながるまち吉田



## ①地区の概要

【地域の現況】(令和7年12月末時点)

人口13,889人、高齢化率31.89%、世帯数6,811世帯  
人口、世帯数、自治会数、いずれも益田で一番多い地区です。予測では、将来もほぼ同じ人口と高齢化率が維持されます。

【地区の魅力】

益田市役所本庁をはじめ各種行政機関や金融機関、益田赤十字病院や個人医療機関、文化施設や小中学校、商店街や個人商店が多くあり、生活するうえで利便性の高い地区です。

また、高津川、益田川、日本海に面しており、自然との共存もできています。

【地区の課題】

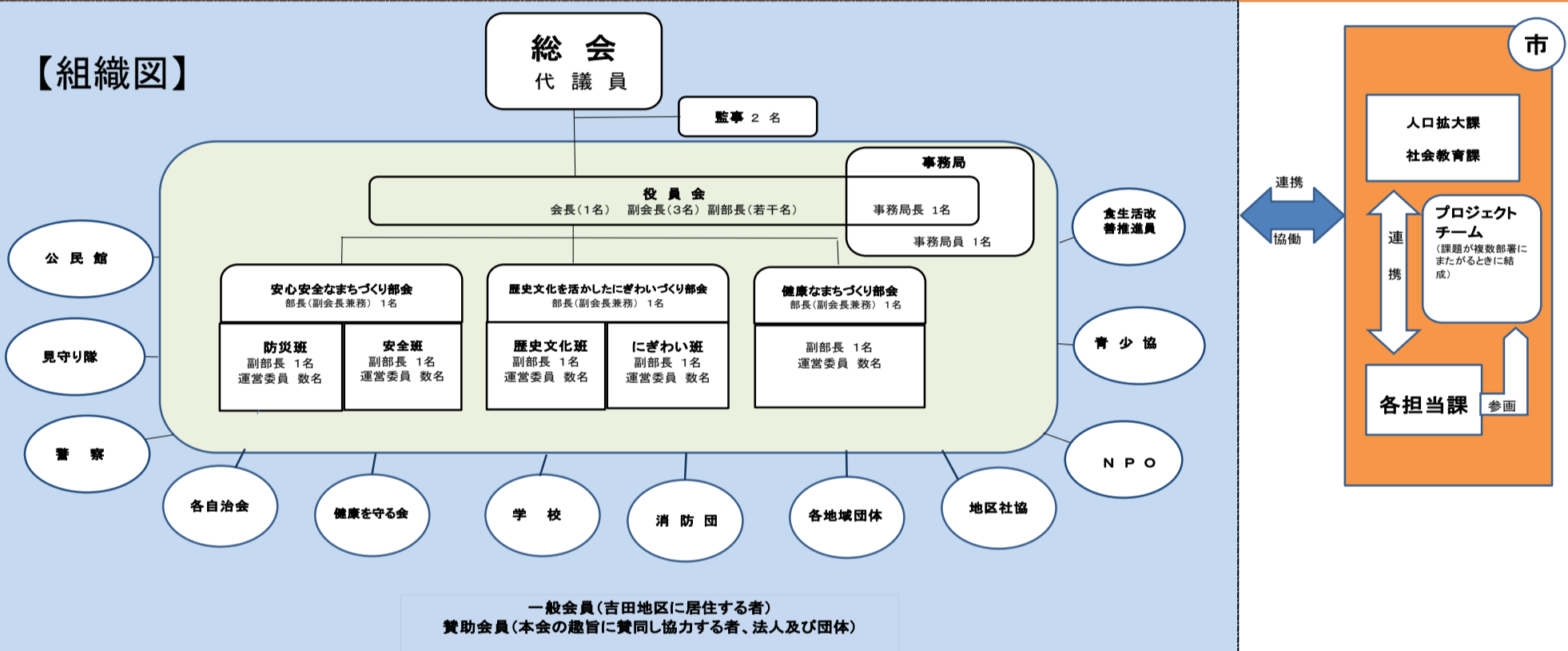
吉田地区は、昨今の異常気象の影響による二つの川の氾濫が心配されます。また、交通量が多く、通学路にも危険な箇所があります。その他、アパート・マンション等の増加や核家族化により、隣人関係が希薄化しているため、地縁による地域運営が難しくなっています。

## ②実施団体の概要

【団体の名称】

「吉田地区自治協議会」

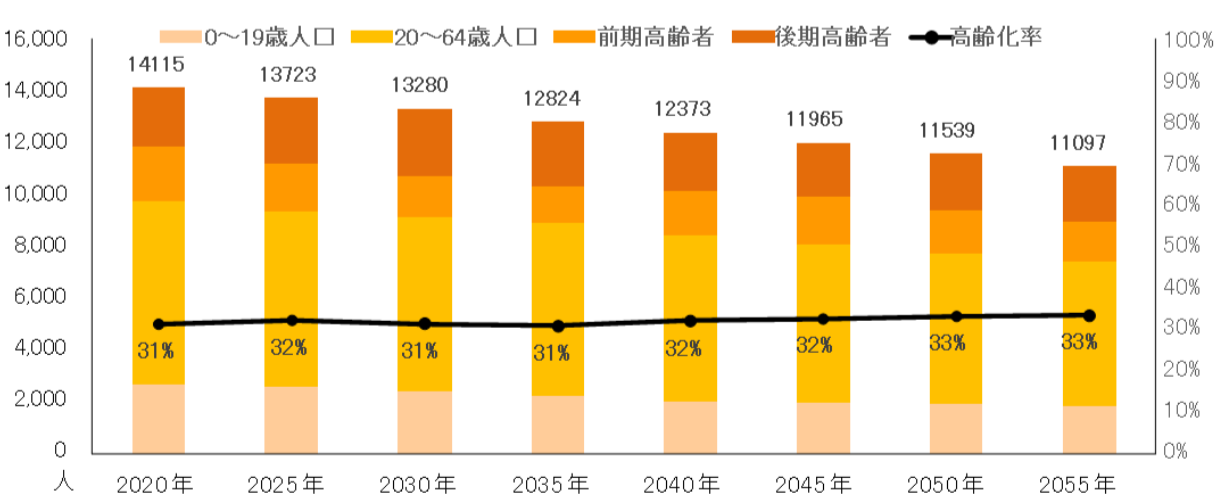
【組織図】



## ③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 吉田地区



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

安心安全なまちづくり部会(防災班)では、地域の防災力向上に取り組んでいます。年3回「吉田地区防災協議会」を開催し、各自治会の防災担当者が集まって研修や情報交換を行っています。また、吉田地区防災訓練の実施や、各自治会が行う防災訓練の支援にも取り組んでいます。

同部会(安全班)では、子どもたちが安心して登下校できるよう、見守り活動の支援や通学路の危険箇所の改善に努めています。

健康なまちづくり部会では、住民が運動しやすい環境づくりを進めており、健康ウォーキングや健康教室を開催しています。

歴史文化を活かしたにぎわいづくり部会(歴史文化班)では、地域の歴史を学ぶ「歴史茶話会」を開催しています。

同部会(にぎわい班)では、小中高生の放課後活動を支援し、子どもたちによる自主的な活動体「ヨシダリーダーズ」の取り組みを応援しています。

## 【団体長メッセージ】

吉田地区自治協議会は第1期5年目になり、次年度から第2期になります。当初の計画から部員の発案による新しい取り組みや、若い人材による活動も行われています。それぞれの活動は当協議会にとって大事な活動ですが、これまで行ってきた活動の中には、発展すべきものや整理されるものが、徐々に明らかになってきています。このため組織の在り方も、このような現在の活動を踏まえて改正して、次期5か年計画を策定します。



# 令和7年度 吉田地区自治協議会活動報告

こんなことが話し合われています

## 【防災研修:福祉避難所について】



第1回吉田地区防災協議会  
吉田地区の福祉避難所について、その種類や開設までの流れ、要配慮者の受入方法、そして各自治会で取り組めることをテーマに研修会を実施しました。

## 【通学路の見守り活動】



安全班では、通学路一斉見守り活動「吉田の見守りEye(眼・愛)」を開催するにあたり、学校、PTA、見守り活動団体、自治会が集まり、通学路の安全について意見交換を行いました。

## 【子供たちの自主的な活動】



吉田地区の小中高生による地域活動グループ「ヨシダリーダーズ」は、「まずやってみよう」「相手の考えを尊重しよう」「自分で考え自分で決めよう」「楽しもう」を合言葉に活動しています。

## 【第2期活動計画・組織改正】



令和8年から始まる第2期5カ年活動計画と組織改正について、協議を重ねてきました。昨年実施したアンケート結果などを踏まえ、多くの住民が参加しやすい自治組織づくりを進めています。

こんな地域づくりを行なっています



## 防災訓練支援

防災班では、自治会が実施する防災訓練の開催を支援しています。また、当協議会主催の防災訓練も実施し、約100名が参加しました。訓練では防災動画の視聴、個人の避難経路(マイタイムライン)の作成、煙火災体験、炊き出し訓練などを行いました。



## 防災倉庫・備品の設置

防災班では、吉田地区内の2カ所(益田中学校・吉田南小学校)に防災備品倉庫を設置しています。現在、吉田地区全体に効果的な防災備品の設置と、その管理方法について検討を進めています。



## 健康教室

### 「自分の脚で歩きつづけるためのけんこう体操」

健康なまちづくり部会では、健康寿命を延ばし元気で暮らせるまちづくりを行っており、自治会でもできる健康教室の紹介をしています。



## 通学路見守り活動

### 吉田の見守りアイ(眼・愛)

安全班では、通学路一斉見守り活動を年2回実施しています。今年は、自治会・PTA・見守り活動団体から延べ人数約500名が参加し、子どもたちの通学を見守りました。また、危険箇所についての改善要望も行いました。



## ヨシダリーダーズ

### 小中高生による地域活動

にぎわい班では、子どもたちのチャレンジを応援しています。今年は、大学生との交流やオリジナルジュースの開発、イベント出店、自然体験キャンプなど、さまざまな活動に取り組みました。



## 歴史茶話会

### 「まちににぎわいをもたらしたもの」

歴史文化班では、益田市の発展を支えた近代・現代の産業に焦点を当て、「鉱業」「漁業」「林業」「紡績業」をテーマに4回の講座を開催しました。現在にもつながる内容で、往時を知る参加者の方々からの話も交え、大いに盛り上がりました。



名称: 吉田地区自治協議会  
住所: 〒698-0033 益田市元町11-26 吉田公民館内  
電話: 080-8040-2060



HP: <https://yoshidajichi.com>  
Mail: [yoshidajichi@kba.biglobe.ne.jp](mailto:yoshidajichi@kba.biglobe.ne.jp)



# 島根県益田市高津地区

地域づくりのテーマ: 高津っ子の住みよいまちづくり



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口 7,493人、高齢化率38.8%(令和7年12月末時点)  
山・川・海に囲まれた、歴史と文化の息づく地区である。

### 【地区の魅力】

地区内それぞれのエリアの特性を生かしつつ、生活に必要な施設・設備も整っており、とても暮らしやすい地区です。又、活動団体も多く地区の行事も活発です。

小学校1、中学校1、高校1、高等技術校1、保育園4、があり教育機関も充実したまちです。

### 【地区の課題】

少子高齢化、人口減少、諸団体等の後継者不足、伝統文化の継承、人間関係の希薄化等、様々な分野で問題・課題を抱えています。

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

「万葉の里 高津未来の会」

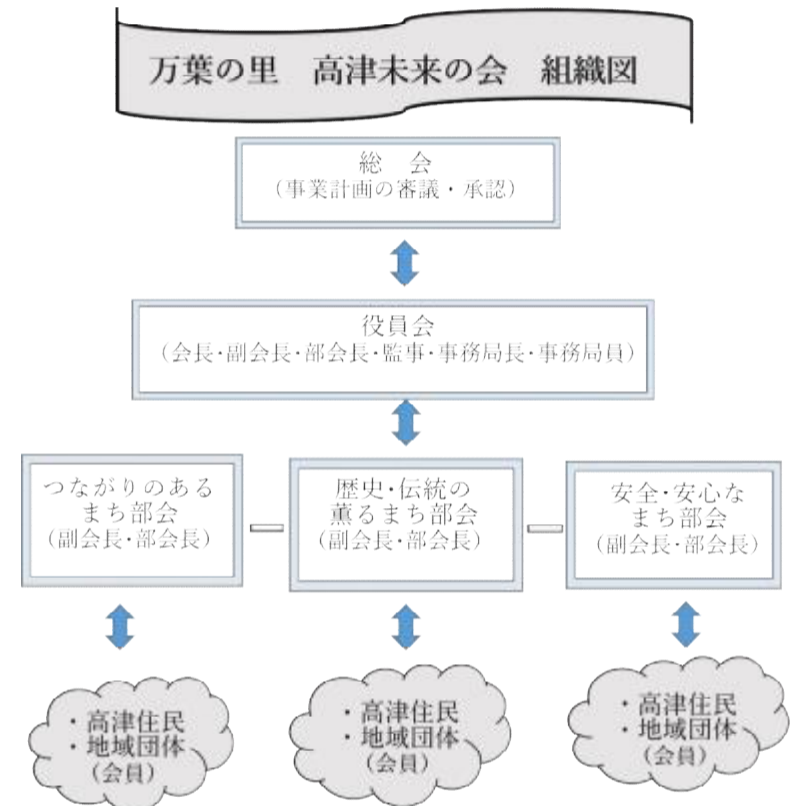
### 【構成団体、構成員】

- ・高津地区住民
- ・各種団体
- ・各種団体から代議員20名
- ・公募より代議員3名
- ・役員(会長1名、副会長3名、部会長3名、監事2名)

「ロゴマーク」



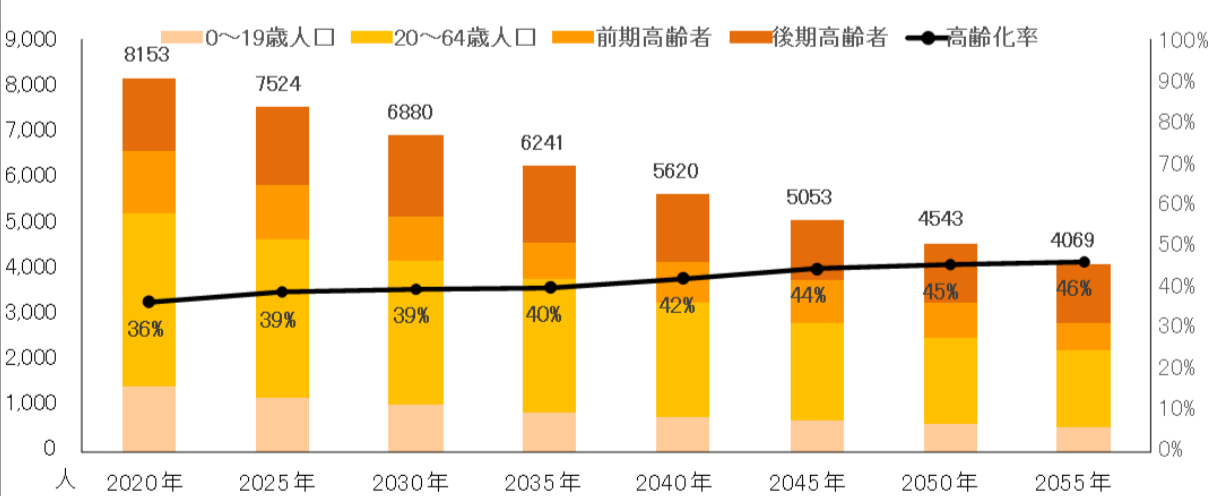
### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション

### 【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 高津地区



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

☆「広報 高津」を年4回発行し、公民館、自治組織や他団体の情報を地区内に回覧。その他にも、会議・行事等の様子もその都度インスタグラムで情報発信。告知端末放送も活用し、より幅広い世代へと情報発信に努めている

☆公民館活動と並行して、講座や事業に取り組んだ

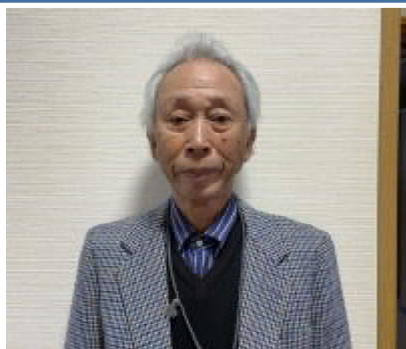
☆永年続けられている子ども見守り活動(登下校等)を継続し進めてきている

☆益田市と島根県立大学との共同研究を活用。昨年度作成したデジタル「高津十景」の発展的な成果物とし、AIを活用したデジタル民話・紙芝居を作成。小学3年生の総合的な学習時間の中で披露した

☆ひとまるフェスタやありがた市を開催。地域の人々が参画できる場・人と人がつながる・人が集う場づくりを実施している

### 【会長よりメッセージ】

会設立以来4年間、地域の活性化を願って活動を進めてきたが、活動の実績及び住民の関心・意識・参加状況等から推察するに、会の「ねらい」の達成には遠いものがあり、当職の力量不足を痛感している。会の組織の見直し、役員等の編成のあり方等、抜本的な見直しを行うことが肝要と考えている。



# 島根県益田市高津地区

## ⑤こんなことが話し合われています



○定期総会を5月17日(土)に開催

- ・事業報告、決算報告
- ・役員改選
- ・事業計画(案)、収支予算(案)の承認



○役員会を4回行いました(1月末現在)  
○各部会会議は、各部会ごとに必要に応じ開催。役員会で、情報共有を行ない事業を実施した



○歴史伝統文化の薫るまち部会  
× 連理松センター

「螺灯」でミズベリング会場をライトアップ

小学生11名、明誠高校生ボランティア2名、部員で150個の螺灯をつくった



○第2弾 特殊詐欺被害防止教室  
1回目の参加者から「地元で開催してほしい」と要望があり、緑ヶ丘地区で開催した。元郵便局職員による実体験を交えた話もあり、参加者にとって現実味のある、学びの多い時間となった

## ⑥こんな地域づくりを行なっています

安全・安心なまちづくり



特殊詐欺被害防止教室



花いっぱい運動



通学路の安心確認

登下校の見守り



毎日の見守り活動

ありがた市



○原則毎月第2・第4木曜日  
○10時～11時に開催。  
今年度で3年目。毎回40～50名の集客。

ふるさと教育デジタルアーカイブ事業  
× 県大

デジタル民話・紙芝居の作成  
小学校からの要望をもとに、AIを活用したデジタル民話・紙芝居を作成。高津十景により興味関心をもってもらえるように作成



古写真を収集中  
高津の街並みを地図にまとめ変遷が分かるようデジタルマップを作成予定



歴史「螺灯キャンドル作りと歴史のお勉強」



松崎の郷



高津蠟座石臼

万葉の里 ひとまるフェスタ開催



10月12日に高津地区文化祭と同日開催し地域を盛り上げた

お問い合わせ先

名称: 万葉の里 高津未来の会  
住所: 〒698-0041 島根県益田市高津2-5-2(高津公民館内)  
電話: 0856-23-1791



☆高津公民館と共に地域の情報発信しています。

# 島根県益田市安田地区

地域づくりのテーマ:「みんなで作る楽しい安田」



完成が急がれる遠田インター

## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口 3,270人、高齢化率42.2%(令和7年12月末時点)  
益田市内での高齢化率は吉田、益田、高津、豊川に次いで5番目に低い地域ですが、年々少子高齢化率が上昇しています。

### 【地区の魅力】

安田地区は金融、教育、医療、介護、工場、スーパー、土木、建築、各種販売会社、飲食店などが充実しており又、海、川、山、多くの史跡遺跡があり生活環境が整っている地区です。経済は農業、漁業、製造、建設、金融、運輸、小売、サービス業です。

### 【地区の課題】

高齢化と核家族化が進み日々の買い物や通院が困難な世帯が増え、今年度11月から新しく「安田地区お出かけ支援事業」を開始しました。要支援1と2の認定を受けている方と事業対象者と判定された方を対象とし、買物や通院のための移動を有料で支援します。R7、12月末現在4名の方が利用されています。

## ②実施団体の概要

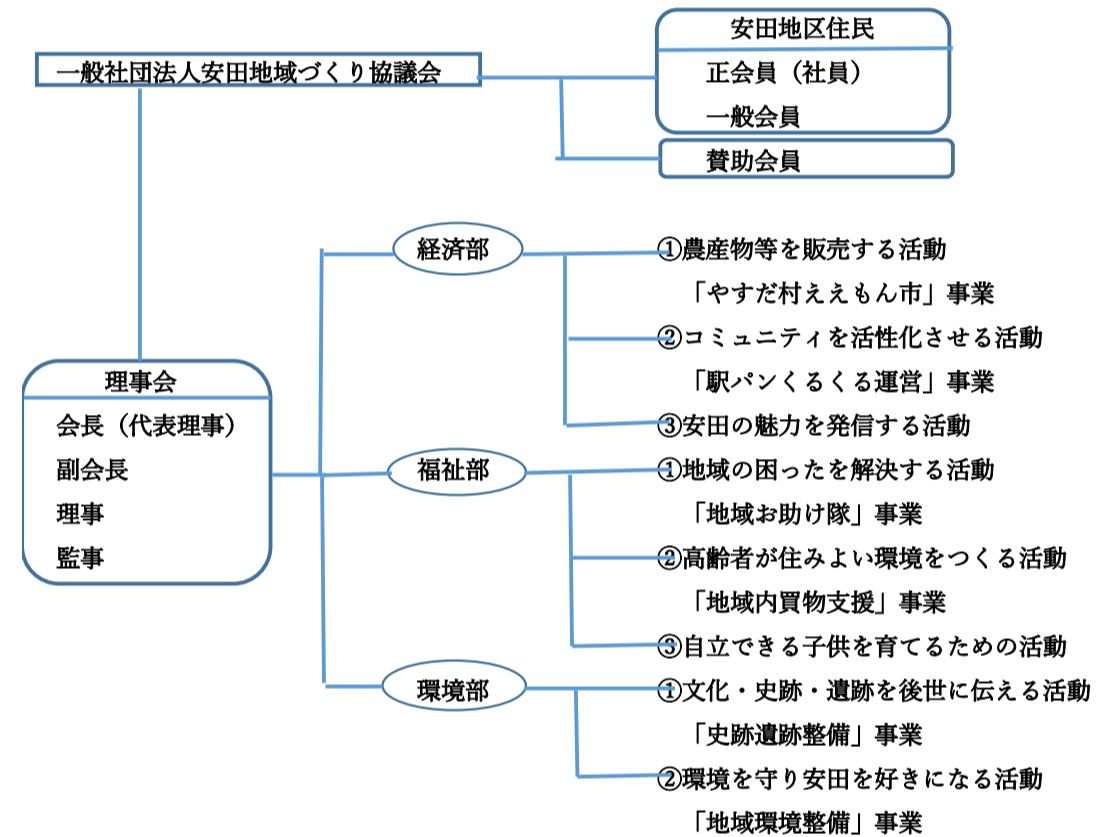
### 【団体の名称】

一般社団法人安田地域づくり協議会

### 【構成団体、構成員】

安田地区連合自治会、安田公民館  
安田地区健康と福祉をすすめる会  
安田地区社会福祉協議会  
安田婦人会、安田ボランティア協議会  
安田地区老人クラブ連合会  
つろうて子育て協議会  
農業委員会、土地改良区安田支部  
市議会議員  
オヤジーズ  
JA, 消防団安田分団  
個人(地域住民)など

【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組(概要)

### 1.地域お助け隊事業

地域住民に代わって有償で草刈り作業などを行い、安心できる環境づくりと所得向上に繋がります。

### 2.パンカフェ運営で地域のコミュニティの活性化を図ります。

### 3.やすだ村ええもん市事業

安田地区で生産された農作物、手作り品などの販売の場を提供し、農作物の生産、加工、商品開発など生産意欲の向上と地域活性化を図ります。

### 4.地域内買物支援事業

・福祉施設の車による高齢者の地元での買物支援を行います。  
・「安田地区お出かけ支援事業」を開始、条件に適合する方を対象に買物や通院の移動を地域住民が有償で支援します。

### 5.史跡・遺跡整備事業

旧山陰道の整備を行い、安田の歴史の伝承と維持を図ります。

### 6.地域環境整備事業

コスモス畑を整備し、ウォーキングイベント等に利用します。

## 【団体長メッセージ】 代表理事: 澤江佑三

第2期(令和4年度~8年度)事業計画に沿い、高齢化社会の実情を踏まえ地区内スーパーでの買物支援や、草刈り・剪定・墓掃除など住宅周辺の環境美化と支援等を進めて来ており、依頼者からの期待と感謝を賜っている。11月より訪問型サービス・活動D実施団体として『安田地区お出かけ支援事業』開設について、三度に亘る理事会で運用規程を作成し、理事7名地区内協力者4名の賛同を得て新たな事業をスタートした。当地区の魅力と意気込みを発揮して活動を更に活性化していきたい。



# 島根県益田市安田地区

## ⑤こんなことが話し合われています



**総会**  
 令和7年6月5日(木)  
 出席者:36名  
 ・令和6年度の事業実績報告、承認  
 ・令和6年度決算報告書、附属明細書報告、承認及び監査報告承認  
 ・令和7年度の事業計画及び予算承認



**臨時役員会**  
 令和7年8月18日(火)  
 出席者:10名  
 ・新事業「安田地区お出かけ支援事業」運用規程の最終案について  
 ・お出かけ支援者の交通安全講習会、介護技術講習の開催について



「訪問型サービス・活動D実施団体向け令和7年度交通安全・介護技術講習会」  
 令和7年8月22日(金)  
 出席者:11名、高齢者福祉課、東部包括支援センター  
 ・交通安全講習:益田警察署交通課  
 ・介護技術講習:介護複合施設つむぎ



**臨時役員会**  
 令和7年10月7日(火)  
 出席者:9名  
 ・令和7年9月30日半期決算状況  
 ・「安田地区お出かけ支援事業」運用規程について周知  
 ・「訪問型サービス・活動D実施団体登録通知書」について

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



**① 「地域お助け隊」事業**  
 ・地域の困りごとを解決するための活動  
 ・草刈・庭木剪定・伐採・墓地清掃他の請負  
 ・4月～12月受注件数:111件  
 ・登録作業員:男性16名、女性3名



**② 「パンカフェ運営」事業**  
 ・石見津田駅の「駅パンくるくる」では、「ご褒美食パン2斤」「シンプル食パン1斤」を中心に各種ロールパン、あんパン、カレーパンを用意して火曜日から土曜日に営業しています。



**③ 「やすだ村ええもん市」事業**  
 ・今年度は7月6日、10月5日、12月7日、9時～10時30分まで開催しました。出店者:22名、来場者:約200名、また、石見津田駅で「土曜朝市」を毎月第四土曜日の10:00～11:30まで4月から毎月開催しました。



**④ 「地域内買物支援」事業**  
 ・福祉施設の車による高齢者の地元での買物を無料で支援(月二回)しています。  
 ・『安田地区お出かけ支援事業』を開始し、条件に適合する方の買物や通院の移動支援を地区住民が有償ボランティアで支援します。



**⑤ 「史跡・遺跡整備」事業**  
 ・地域の史跡遺跡を整備し歴史の伝承に取り組む活動 ・旧山陰道・丸山公園の草刈作業を年二回実施:6/22 参加者:42名、10/19 参加者:34名で行いました。



**⑥ 「環境整備」事業**  
 ・「コスモスの里づくり」事業ではコスモス畑を整備し、赤やピンク、ホワイトのコスモスの花を咲かせ、R7.10/12に健康ウォークを開催し終了後は炊込みご飯と豚汁を頂きました。

お問い合わせ先

〒699-3676  
 益田市遠田町384番地2  
 一般社団法人安田地域づくり協議会  
 TEL(FAX兼用) 0856-27-0001



# 島根県益田市鎌手地区

地域づくりのテーマ：地域資源を活かし「住みよい」鎌手



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口、高齢化率(令和7年12月末時点)  
 総世帯数：639世帯 人口：1249人  
 高齢化率：51.2%

### 【地区の魅力】

丘一面に咲き誇る「唐音水仙公園」その近くには島根県唯一の国指定天然記念物「唐音の蛇岩」、夕日に映える大浜、土田海岸など自然の魅力あふれるこの地域は、春夏秋冬それぞれに美しい景観が楽しめる地域資源に恵まれた地区です。

### 【地区の課題】

他の中山間地区と同様に人口の減少と高齢化により、各地区での行事や環境整備事業などの担い手が足りなくなっています。

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

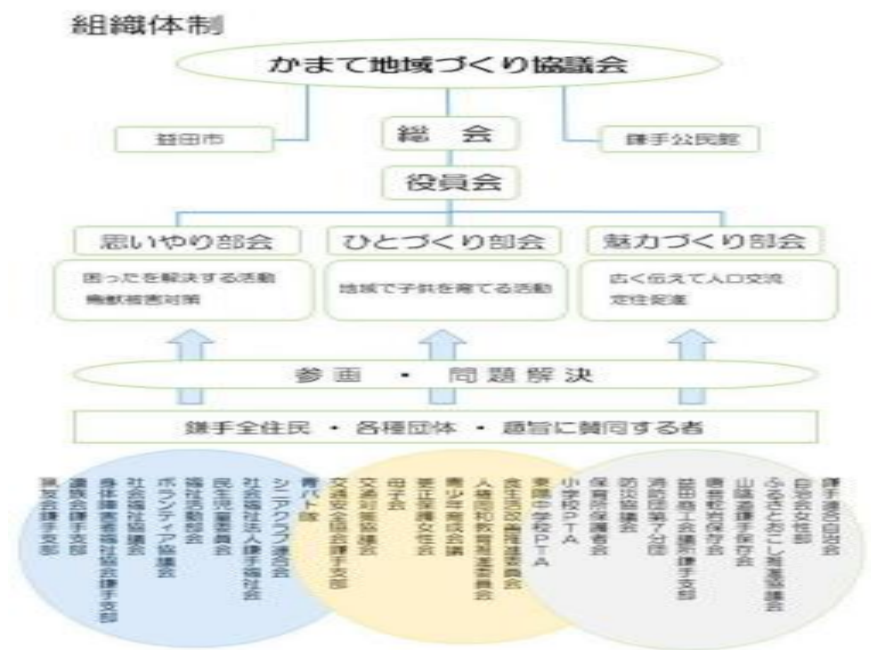
かまて地域づくり協議会

### 【構成団体、構成員】

- ・代議員 26名
- ・役員 9名  
 (会長：1名、副会長：2名、会計：1名、各部部长：3名、監事：2名)
- ・部会員
 

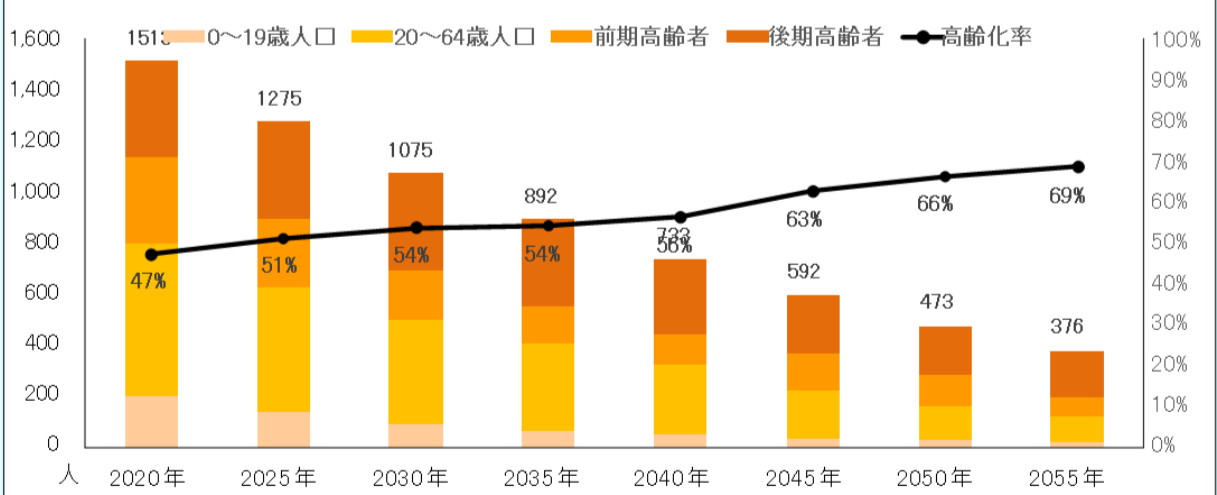
「思いやり部会」	31名
「ひとづくり部会」	7名
「魅力づくり部会」	22名

### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

### ◆地域の困ったを助ける取組

- ・お助け隊による活動(草刈り、墓掃除、家の掃除など)
- ・買物支援バスの運行(2回/月、AM・PM)

### ◆子ども達と地域の交流ができる取り組み

- ・ビヨンドミーティング  
 「中学生主体の活動による自分達がやりたい事を叶える」  
 「地域との交流活動、にこにこマーケット・水仙ウォーク」などに参加

### ◆かまての魅力を発信し定住促進につなげる取組

- ・SNSによる情報発信
- ・「coffee work shop」や「SUP体験」による交流人口の拡大



## 団体長の写真



## 【団体長メッセージ】

鎌手地区の皆様には、日頃より地域自治組織活動へのご理解とご協力を賜り、心から感謝しております。少子高齢化のなど問題は有りますが、人と人のつながり、自然や文化という鎌手の宝は揺るぎません。世代を超えて支え合い、知恵を出し合いながら、誇りと希望を持てる鎌手の未来を共に作っていきましょう。今後も「かまて地域づくり協議会」の活動にご理解とご協力を宜しく願います。

# 島根県益田市鎌手地区

## ⑤こんなことが話し合われています



### 〔定期総会〕

令和6年度の活動結果・収支決算と令和7年度の活動計画・予算案について代議員に報告承認を頂きました。代議員からは、会の活動に対しての要望や、地域の活性化に向けての意見を頂きました。



### 〔ひとづくり部会〕

ビヨンドミーティングの進め方や、ビヨンドと地域の方の交流や公民館への参画方法。又次年度の活動の方向性を話し合っています。



### 〔思いやり部会〕

年度初めに全体での今年度の活動方針を確認しました。お助け隊の活動状況の報告や、買物支援バスの状況今後の予定、活動に対しての問題点・隊員からの要望を確認しました。



### 〔魅力づくり部会〕

部会全体の活動状況の確認と周知、チーム事の活動計画などを話し合っている必要事項をその後全体で共有しています。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています

### 〔思いやり部会〕

★「お助け隊」では草刈りをメインに墓掃除や家の片付け、溝掃除など160件を超える依頼を受けて実施しました。年々依頼が増加しています。又ボランティアで小学校・保育所・公民館の草刈りや水仙公園の球根の植え替えを実施しました。

### 〔ひとづくり部会〕 (ビヨンド)

★「ビヨンドミーティング」中学生が集まり行事の話し合いをした後ゲームをして楽しみました。

### 〔魅力づくり部会〕 (チャームラボ)

★今年も地域のイベントを盛り上げるために文化祭、にこにこマーケットでコーヒーの販売を実施しました。



★「お化け屋敷」中学生と企画、準備をして縁日と花火も同日に行い夏休みの思い出になりました。

★鎌手の海の魅力を体験してもらう、SUPを実施しました。今年は朝SUPに加えサンセットSUPも実施して好評でした。



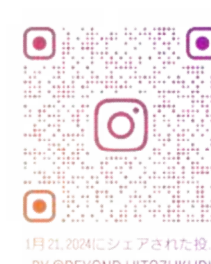
お問い合わせ先

住所 〒699-3506 益田市西平原町751-7  
かまて地域づくり協議会(益田市鎌手公民館内)  
TEL 0856-27-0501  
Mail csc-kamate@city.masuda.lg.jp

鎌手公民館



人づくり部会



魅力づくり部会



地域づくりのテーマ：地域の特性と自然を生かし、「ひとつの輪」になった「むらづくり」



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口・高齢化率(令和7年12月末時点)

人口：212人 高齢化率：48.1%

### 【地区の魅力】

・中山間地域に位置し、伝統芸能の種神楽と自然を活用(さくら・あじさい・ホタル)したイベントを開催し、人との交流が盛んな地区です。

・小学校の跡地利用と、未耕作地の解消を図り、農産加工品の製造販売により、活性化している地区です。

・種出身者に「種だより」と「ふるさと便」を発送しています。

### 【地区の課題】

・人口減少・少子高齢化

・後継者、担い手不足

・鳥獣害対策

・高齢者、子ども支援

・耕作放棄地の増加

・小学校の跡地有効利用

・空き家対策

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

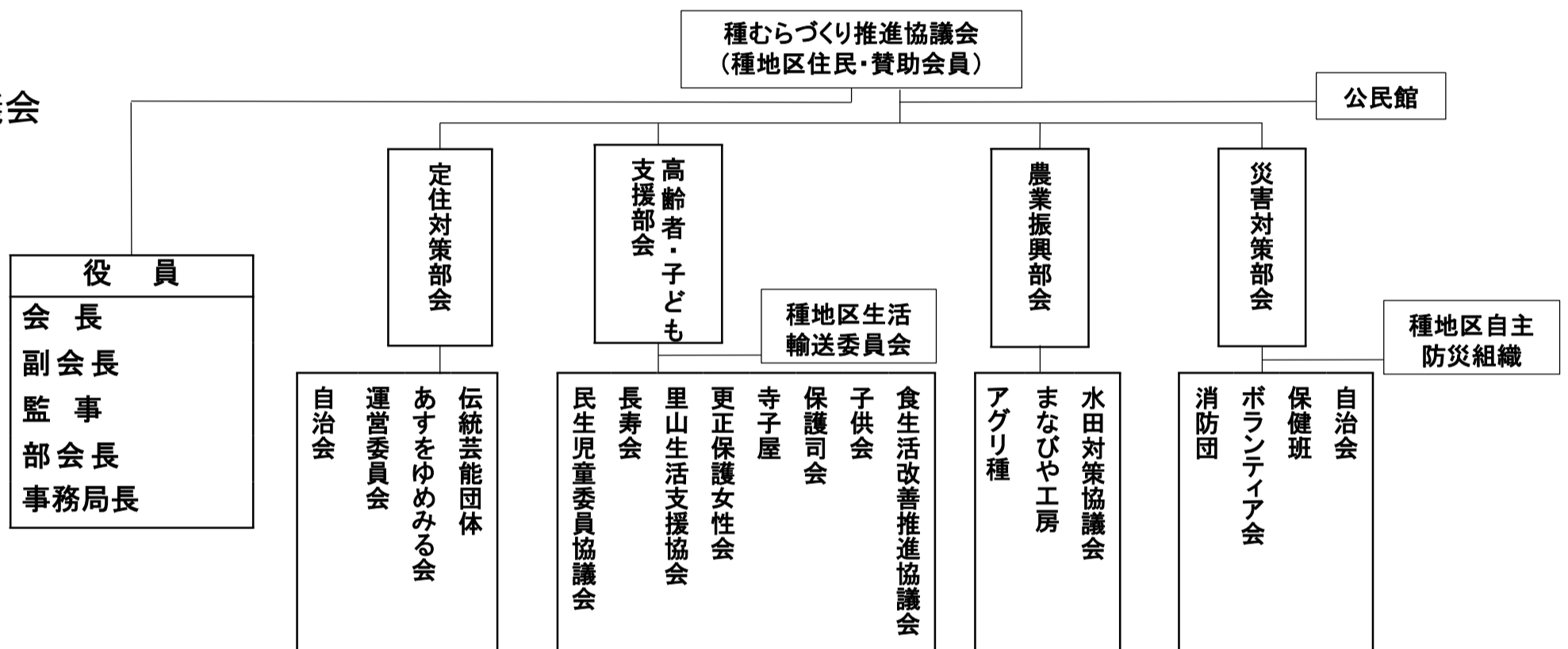
種むらづくり推進協議会

### 【構成団体、構成員】

右図参照

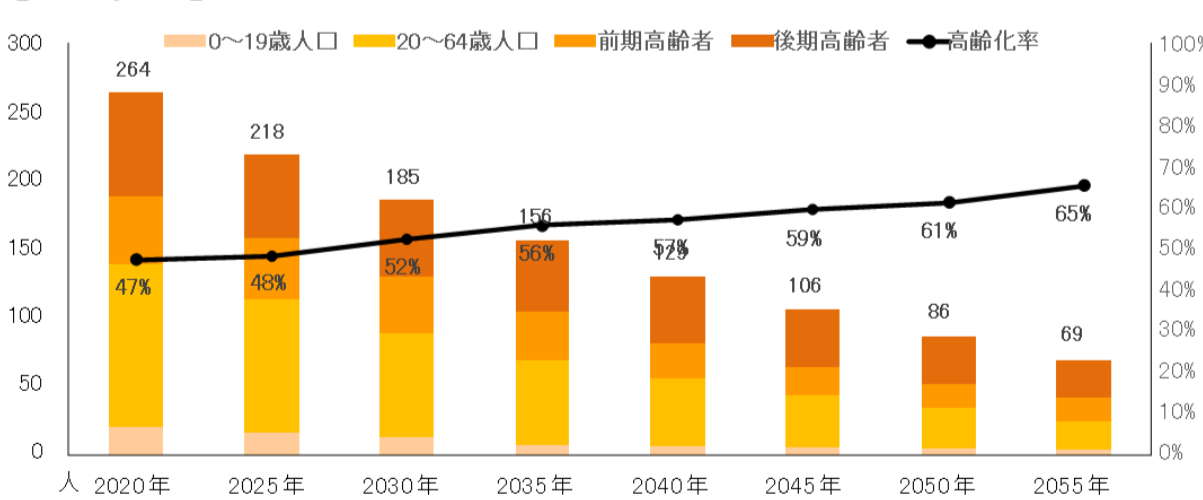
### 【団体の組織図】

右図参照



## ③地区の人口シミュレーション

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組(概要)

- \* 地域の魅力を発信(facebook、種だより、ふるさと便等)
- \* 伝統芸能(石見神楽)を活かした交流人口の拡大
- \* スポーツ交流会等行事へのふるさと選手の参加
- \* 担い手の育成
- \* 自転車によるイベントを開催し、交流人口の拡大
- \* 農産加工品の商品開発と販路拡大
- \* 農業法人による未耕作地の解消と新規作物の開拓
- \* 種ひだまり茶屋(サロン)を利用した拠点づくり
- \* 空き家を利活用した、関係人口受入体制づくり
- \* 自然を活かしたイベントによる交流人口の拡大
- \* 訪問型サービスD及び通所型サービスBによる高齢者支援の拡充

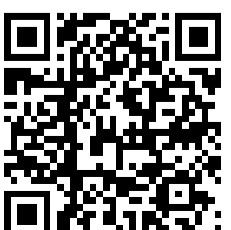


### 【種むらづくり推進協議会 川本会長メッセージ】

種地区は少子高齢化担い手不足の地区ではありますが、若い人達が地域の消防団に入隊してくれたり、伝統芸能の担い手や地区行事にも参加する様になりました。世代交代も含め皆で取組む地域となりつつあります。

また、神楽と自然豊かな地区であり、これらを生かした地域づくりも取り組んでいます。みんなが共に住み続ける事ができる地域となれる様、さらなる頑張りの1年となります。

種公民館

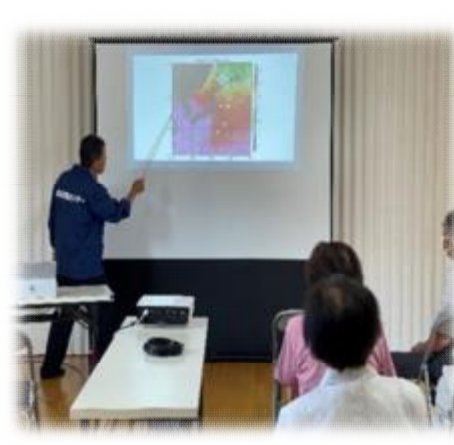


## ⑤こんなことが話し合われています。



### <農業振興>

- ・ 耕作放棄地が増加し、比例して農業者が減っている問題を地区でどうするか？を話し合っています。
- ・ 外部団体との連携も模索し、関係・交流人口の取り組みを行い、農業者育成に努めます。



### <災害対策>

- ・ 常に防災意識を高めるよう、防災の日にあわせ研修会を開催しています。
- ・ 自主防災組織による避難訓練を実施し、問題点を話し合っています。



### <高齢者・子ども支援>

- ・ 総合事業訪問型サービスDの現状と問題点を話し合っています。
- ・ 通所型サービスBについての取組みを検討しています。
- ・ 通院や買い物の要望などと地区ボランティア運転手の調整を図ります。



### <定住対策>

- ・ 近年、空き家が増加している事を踏まえ、地域住民らで解決の話し合いを進めています。
- ・ 空き家バンク等への登録の推進を図ります。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています。



自治組織(RMO)の農業振興部会「アグリ種」では、「種まなびや工房」にて種地区で収穫した「もち米」による杵つき餅の販売をしています。

市内のスーパーでは、店頭販売を行い商品のPRだけではなく、種地区の紹介など、幅広く情報を広げています。

毎年「種だより」を地区外種出身者に送付し、同時に「正月の餅」などの注文による「ふるさと便」として事業展開しています。

SNSを利用した宣伝も力を入れており今では市内のみならず、県外へもアグリ種のお餅やお米等が浸透しています。

高齢者・子ども支援の取組みとして毎週水曜日に「高齢者サロン」を開催しメニューも様々な事を取り入れ、百歳体操だけでなく、地区住民参加型のサロンとなっています。

介護予防サービス事業も取組み、地区住民に広がりつつあります。

サロンでは講演や体操をするだけでなく市外へ遠足や食事に行ったり、小中学生や保育園児らと交流したり様々な企画を行っています。



耕作放棄地や空き家が年々増加しているのが地区の課題となっており、現在耕作放棄地で小麦を栽培し全粒粉販売するなど利活用する取組みを模索しています。

そのほか、多様なイベントを企画し都市圏から田舎暮らしを目的にヒトの交流を目指しています。



### 【地域自治組織の所在地】

〒699-3503  
島根県益田市下種町1179-1  
種むらづくり推進協議会(益田市種公民館内)  
TEL:0856-27-1008 (FAX兼)

お問い合わせ先

種公民館



# 島根県益田市北仙道地区

地域づくりのテーマ：『誰もが参加できる、ワクワク感を大切にしたい、人づくりを通じたまちづくり』



## ①地区の概要

【地区の現況】(令和7年12月末時点)

- ・人口:365人、世帯数:182世帯、高齢化率:53.1%
- ・総面積15.53km<sup>2</sup>

【地区の魅力】

- ・海は無くとも自然豊かな環境にありながら、市街地までは車で10分、萩・石見空港も30分の立地条件の良い地域。
- ・益田十景にも選ばれている比礼振(ひれふり)山(別名:権現山)に登れば、市内を見渡すことができ春には山頂が桜色に染まる。

【地区の課題】

- ・少子高齢化 / 人口減少 / 学校統合による遠隔通学
- ・農業の担い手不足 / 耕作放棄地の増加 / 鳥獣被害
- ・空き家の増加 / 交通手段の減少 など

## ②実施団体の概要

【団体の名称】

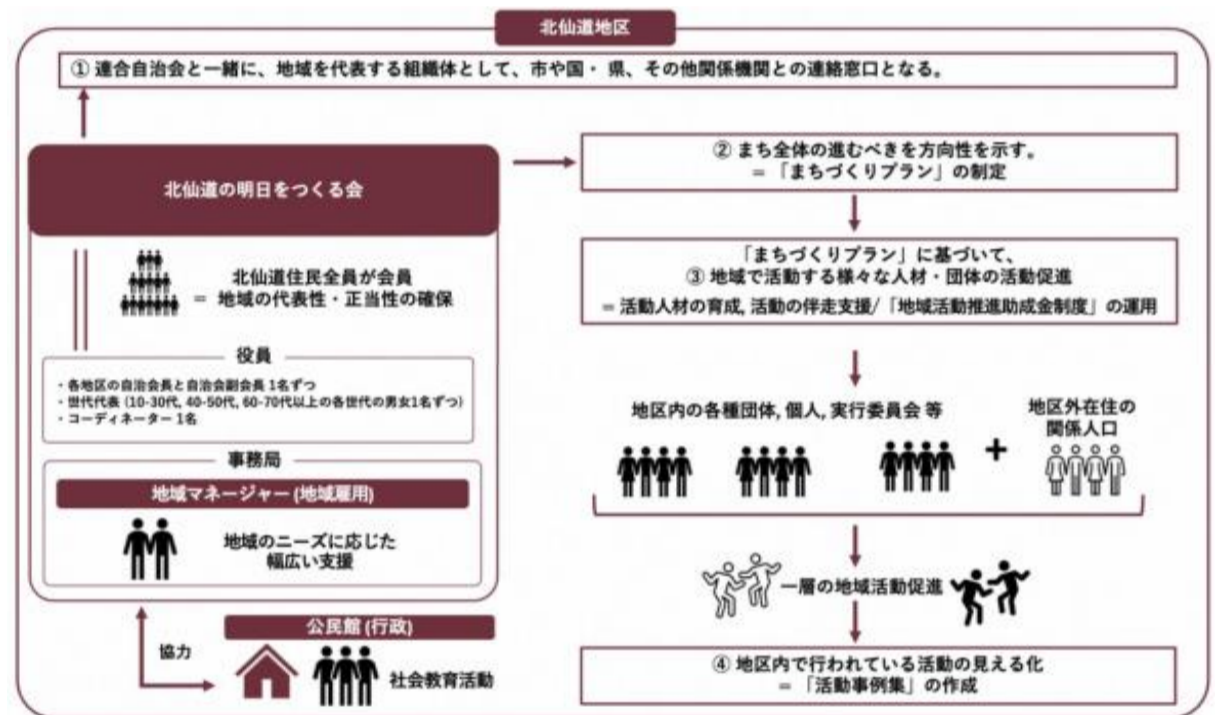
北仙道の明日をつくる会

【構成団体、構成員】

会長1名、副会長兼コーディネーター1名、監事2名、特別役員1名、理事7名、事務局長1名

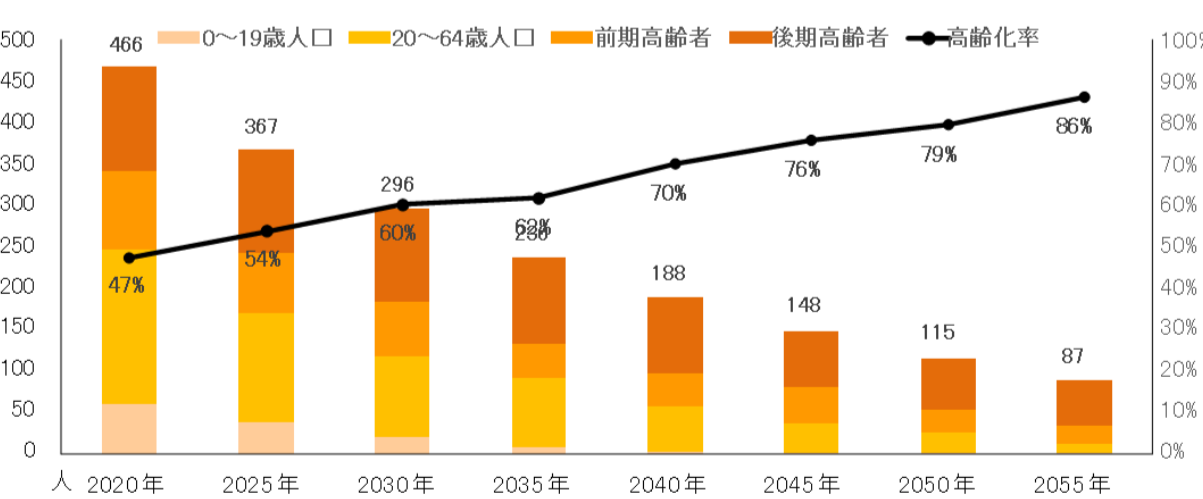
- ◆ 北仙道地区住民全員
- ◆ 地区内で活動する各種団体、個人、実行委員会
- ◆ 地区外在住の関係人口
- ◆ 北仙道公民館
- ◆ 地域マネージャー

【団体の組織図】(規約に示されているもの)



## ③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率 益田市 北仙道地区



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組(概要)

(1) 地域マネージャーの導入

(2) 部会制を廃止し、より多くの個人、団体による活動を支援する体制に移行

(3) 「地域活動推進助成金制度」の活用

- ・「活動事例集」の作成
- ・地区内に助成金制度のチラシ作成、配布

(4) 公民館と連携しながら

持続可能な地域づくりのあり方の模索

## 団体長の写真



## 【団体長メッセージ】

昨年から用意していた移動支援が今年から始まります。登録者も増えてきています。運転者の数を増やしていきたいので地区内の方には参加をよろしくお願い致します。今はボランティアですが、運営がうまくいけば賃金を出したいと考えています。きんさい市も地区外の参加が増えて賑わっており、大変いいことです。運営は大変かと思いますが、頑張っで欲しいと思います。事務局の方も地区に馴染んできており、大変いいと思います。これからもよろしくお願い致します。

# 島根県益田市北仙道地区

## ⑤こんなことが話し合われています



**【北仙道の明日をつくる会：総会】**  
定例総会では、前年の活動報告と決算、今年度の事業計画と予算、役員改選などを議題としています。加えて、地域課題(防災・美化・福祉・イベントなど)についても話し合っています。



**【まちづくりプランWS:60代以上】**  
来年度新たに策定するまちづくりプランの作成にあたり、北仙道地区の魅力や次世代に引き継ぎたい文化などについて話し合いました。



**【北仙道の明日をつくる会：役員会】**  
役員には30代～60代までが幅広く加わり、地区内で活動している団体の支援事業報告や、今後の北仙道地区全体の進むべき方向性などについて話し合っています。



**【まちづくりプランWS:10～50代】**  
来年度新たに策定するまちづくりプランの作成にあたり、北仙道地区の魅力や残していきたい環境や文化について話し合いました。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



**【ふれあいスポーツ大会in夏】**  
地域のふれあいスポーツ大会は、世代を超えた交流を目的として開催しました。未就学児から80代まで、70名を超える参加があり、幅広い年代が一堂に会する貴重な機会となりました。競技は誰もが楽しめる内容を工夫し、子どもから高齢者まで一緒に取り組むことで、笑顔と声援に包まれた温かな時間が生まれました。スポーツを通じて地域のつながりを深め、今後も交流の場として継続していきたいと考えています。



**【北仙道キャンプ秋】**  
子ども会主催によるキャンプが開催され、60名を超える参加者が集い、にぎやかで充実したひとときを過ごしました。大正大学の学生による本格的なお化け屋敷や、芸術士・賀戸亜子さんによるペイントワークなど、子どもたちの創造力と好奇心を刺激する企画が盛りだくさんでした。夜間には一時的な雨もありましたが、翌朝は晴天に恵まれ、自然の中でのびのびと活動する姿が印象的でした。参加者の笑顔があふれる、思い出深いキャンプとなりました。



**【きんさい市】**  
きんさい市では、北仙道のことを地区外の方にも知っていただき、地域で育てた美味しい野菜を楽しんでいただける機会となりました。東陽中学校の1年生6名が手伝いに来てくれ、会場を大いに盛り上げてくれました。ダンス発表のおかげで若い世代の来場者も多く、地域を広く知っていただく良いきっかけになったと思います。当日には反省会も行い、電気落ちの問題など改善点も確認しました。来年度はさらに工夫を重ね、より良いきんさい市をつくっていききたいと考えています。



**【お問い合わせ先】**

〒699-3674 島根県益田市大草町665-1

北仙道の明日をつくる会(益田市北仙道公民館内)

TEL・FAX : (0856) 22-0218

Facebook : <https://www.facebook.com/kitasendou/>



北仙道の明日をつくる会  
Facebook



北仙道の明日をつくる会  
Instagram

# 島根県益田市豊川地区

地域づくりのテーマ：「住みよい豊川・住みたい豊川」そして未来へ とよかわの未来づくり宣言 ~ほしい未来は 自分たちでつくる~



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口757名(世帯数352戸、男367名、女390名)、高齢化率41.2%(令和7年12月末現在)。

益田市の中心市街地に隣接した、都市部と山間部を併せ持つ緑に囲まれた自然豊かな地区。

### 【地区の魅力】

益田で唯一の一等三角点を有する葎草山や樹齢約140年の岩柘いだれ桜、大谷城跡等の歴史的遺産が点在している。

地域を挙げて子ども地域活動やがん対策に取り組んでおり、地域を元気にすることを目的とした活動が始まっている。

### 【地区の課題】

自然に恵まれた住みやすい地区であるが、少子高齢化による人口減少、高齢者世帯の増加等により、後継者及び担い手不足など、様々な課題が山積している。

## ②実施団体の概要

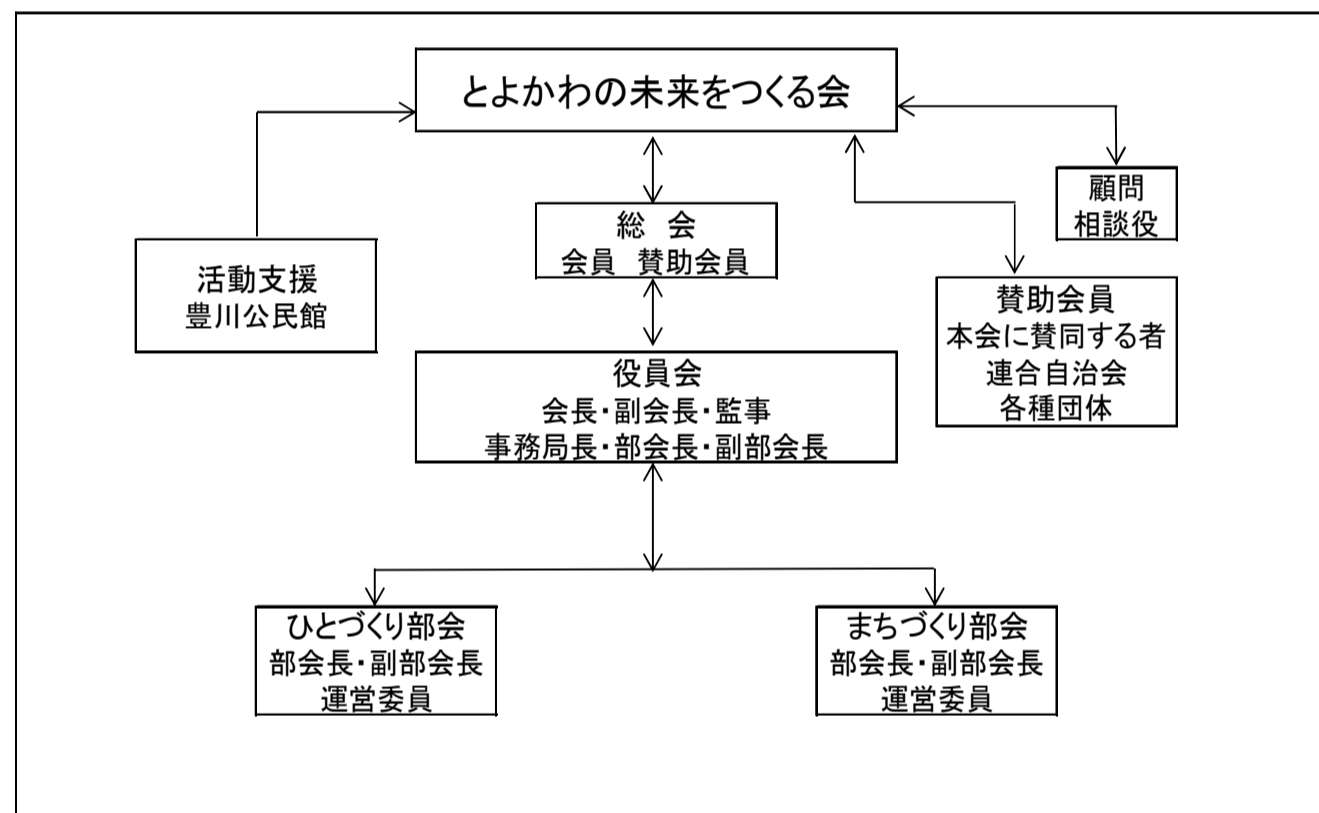
### 【団体の名称】

とよかわの未来をつくる会

### 【構成団体、構成員】

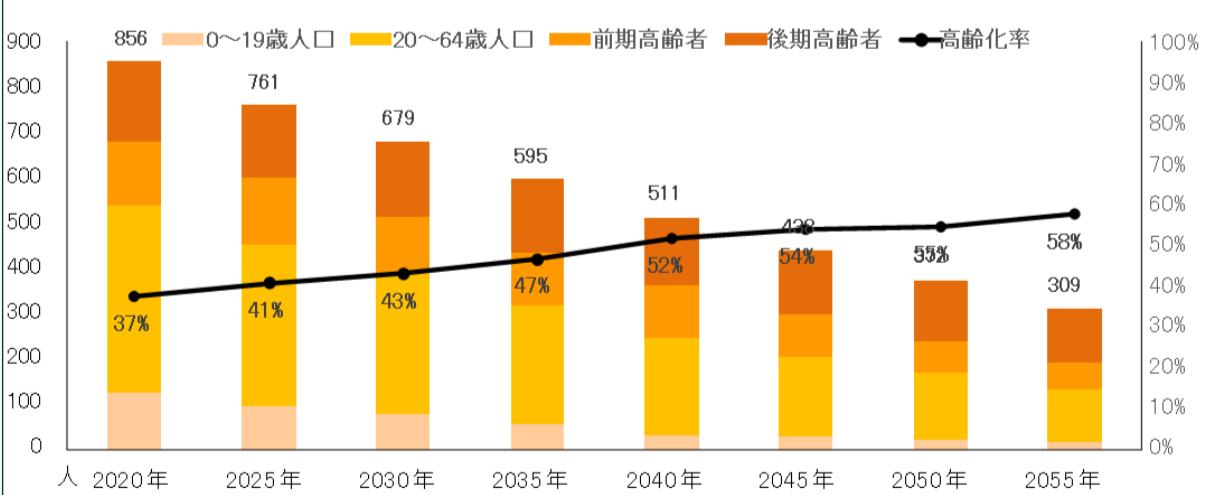
- ◆豊川地区社会福祉協議会
- ◆豊川地区公民館運営委員会
- ◆豊川地区連合自治会
- ◆豊川地区民生児童委員
- ◆豊川地区更生保護女性会
- ◆豊川地区食生活改善推進協議会
- ◆豊川地区つろうて子育て推進協議会
- ◆豊川地区団体等
- ◆豊川地区地域住民(I・Uターン者等)
- ◆豊川小学校
- ◆豊川保育園
- ◆本会の目的に賛同する者

## 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組み

地域自治組織設立から9年がたち、これまで積み重ねてきた地域力や信頼関係を基盤に、地域住民の声を活かした地域運営の仕組みにより、持続可能な地域づくりに向けて更なる一歩を踏み出す。

今年度の具体的な行動指針である「まちづくり活動計画」に取組み、より住みよい豊川を目指して各部会の事業を展開する。

◆ひとづくり部会(つろうて子育て推進協議会との連携) **取組内容抜粋**  
 ☆マスタひとまちカレッジの運営

誰かの「楽しい」をみんなの「楽しい」に、あらゆる世代が楽しく学べる講座を展開

☆保小中の活動の支援

コミュニティスクール小学校を中心に、保育園、中学校と連携して行う活動や、ふるさと教育の活動について支援

☆「とよかわゴン」「とよかわの家」運営管理、☆地域支援体制の検討他  
 ◆まちづくり部会(連合自治会との連携) **取組内容抜粋**

☆各自治会との連携の推進

会の活動を各自治会に広く周知・協力を求める。

☆安心して暮らせるまちづくり

災害時における各地区の防災対策等の支援

## 【団体長メッセージ】 山本宏史 会長

令和7年度は活動に大きな変化はありませんでしたが、保育園・公民館の建て替えや小学校の施設を地域と共用する設備改善が進められるなど、小学校を中心とした環境が見た目大きく変化した1年でした。この変化は建て替え・改修であり、活動のスタンスは従前と変わるものではありませんが、新たな環境が園児、児童を含め地域住民のさらなる地域愛、活動に向けた心の変化を促すと共に、そのことで豊川地区の一層の盛り上がりにつながることを期待します。今後も「楽しく」を基本に取り組みを進めていきます。



# 島根県益田市豊川地区

## ⑤こんなことが話し合われています。



令和7年5月14日(水)  
第1回 とよかわの未来をつくる会  
役員会を開催  
役員改選及び組織体制の協議  
定期総会の流れ、総会資料、「豊川あったか対話」について説明  
各部会より事業計画の説明



視察対応(県内外)  
文科省地域学習推進課をはじめ  
高・大での地域実習、県外からの視察研修に対応  
当会の経緯や取組、「ひとづくりと地域づくりを一体的に進めるスクールコミュニティづくり」等の説明



令和7年6月29日(日)  
定期総会を開催(豊川小学校体育館)  
住民約120名(小学生含む)の参加により通常の議題の他、ワークショップ「豊川あったか対話」を開催  
総会についてのアンケートを実施



今年度は3役会を2回、役員会4回、ひとづくり部会5回、ひとづくり部会4回を開催(予定)  
将来のビジョンとして掲げる「まちづくりプラン」を引き続き実行  
より住み良い豊川を目ざして、各部会により事業を展開

## ⑥こんな地域づくりを行なっています。



★公民館お別れ会  
新たな公民館が完成し50年の歴史が詰まった旧公民館とのお別れ会が開催されました。(新公民館テープカット)

★保・小・公 合同避難訓練  
地域で想定される災害を設定し、園児・児童、公民館利用者の安全確保と、地域との連携確認を目的に開催

★益田東中学校6かるプロジェクト  
豊川地区の4団体と一緒に普段行っている活動を体験。地域を支えていただいている方々との交流を深める。



★戦没者追悼式の開催  
中学生や地区社協を中心に協議を重ね会場に並べる灯笼や千羽鶴を作成し祈りを捧げた。併せて早稲田大学の学生を交え小学校で「平和学習」を実施

★お茶プロジェクトの活動  
とよか和茶茶と地域の皆さん、5. 6年児童が参加し、新茶摘みと釜炒り茶づくりを体験。今年も美味しいお茶が出来上がりました。養護学校とのコラボも実施

★とよかわ寺子屋の運営  
長期休暇には、ソーメン流し教室、大学生と遊ぼう！など13種類の様々な教室を開催。子ども達の「やりたい」を実現する活動を支援

お問い合わせ先

〒698-0012  
島根県益田市大谷町334-1  
とよかわの未来をつくる会(益田市豊川公民館内)  
TEL:0856-22-0205  
FAX:0856-22-0205  
H P: <http://masuda-toyokawa.wixsite.com/miraidukuri/> ⇒



# 島根県益田市真砂地区

地域づくりのテーマ：誰もが住んでよかったと実感できる“ふるさと”を目指す



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口：282人、高齢化率56.0%（令和7年12月末時点）

### 【地区の魅力】

日晩山（標高744m）の伏流水を利用した米や豆腐が特産品。H23年度から公民館・地域商社・小中学校が連携して開始した「食育活動」が実を結び、現在は社会福祉法人も参画し発展。さらに真砂保育園の「里山保育」は地域住民を巻き込んだ小さな福祉活動として定着しており、山間部の小さな地区ながらソーシャルイノベーションの事例として地域づくりの専門家からも注目されている。令和4年3月からは統廃合となった中学校跡地に小学校、保育園、診療所、防災拠点がすべて一体となった複合施設（地域活性化交流館）の運営もはじまった。

### 【地区の課題】

小学校・保育園の児童・園児をはじめとした人口減少、高齢化。交通弱者の方の買い物、通院支援。小学校・保育園・公民館・自治会等、しっかりと連携を取りながら一体となって空き家や移住・定住対策等、地域の問題解決に取り組んでいきたい。

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

地域自治組織 ときめきの里 真砂（H28.4.24設立）

### 【構成団体、構成員】

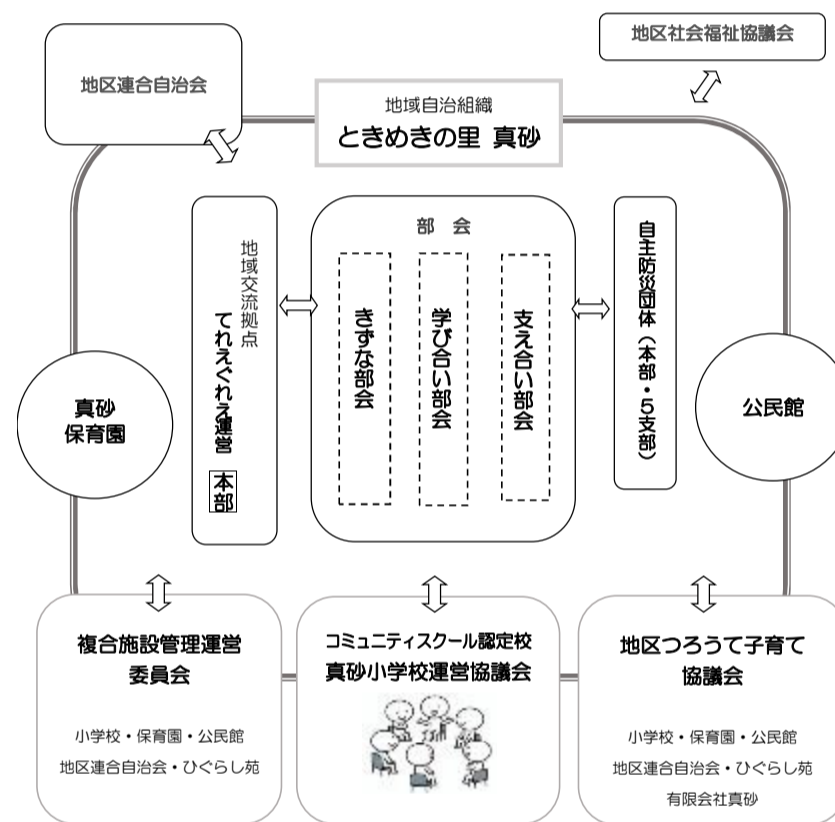
会長1名、副会長2名、監事2名、事務局長1名、会計1名

- ・支え合い部会（男性3名、女性7名）
- ・学び合い部会（男性5名、女性1名）
- ・きずな部会（男性10名、女性5名）
- ・自主防災団体真砂（班長5名、事務局1名）

### ◇他主要活動

- ・ひら山のふもとカフェtele-glue（てれえぐれえ）運営管理

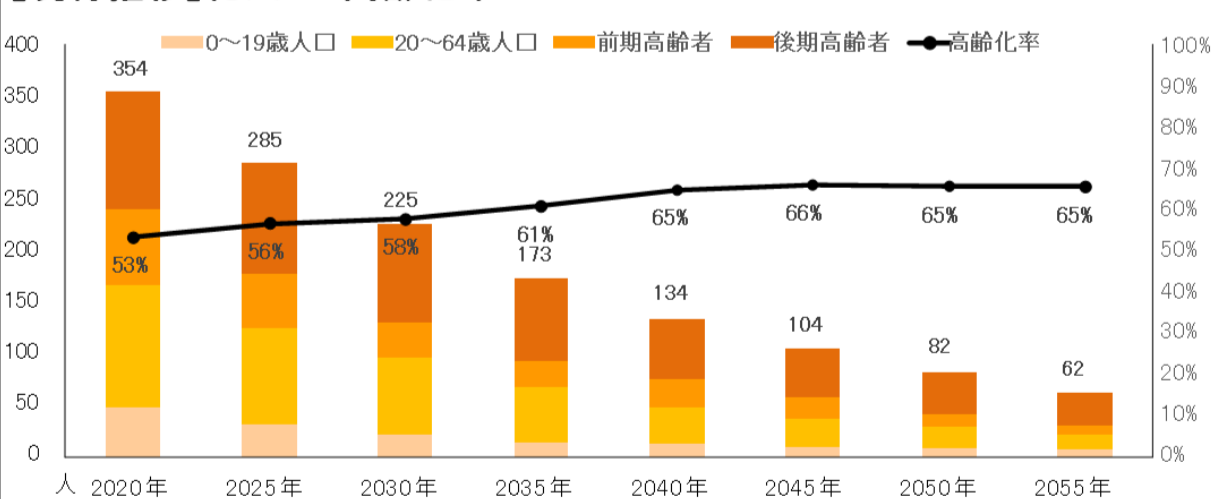
### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション

### 【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 真砂地区



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

### ◆ふれあいバスツアー《買い物支援×交流》

・交通弱者を対象に、地区内デイサービスの送迎車の空き時間を活用し、市内大型スーパーで買い物をした後、真砂保育園にて園児と交流するバスツアーを月1回実施している。

### ◆地域拠点活動

#### 《ひらやまのふもとカフェてれえぐれえの運営・企画・管理》

- ・地区内に商店がないため、買い物が困難な住民のために日用品販売を実施
- ・子どもや高齢者の居場所づくりを目的とし、駄菓子屋や送迎付きの高齢者サロン、モノづくりワークショップを実施。

### ◆複合施設《小学校×公民館×保育園×地域》

・地域にいる赤ちゃん～高齢者までがひとつ屋根の下にいることを“日常”とするための取り組みを各種団体と連携し実施

### ◆出張カフェ・出張販売《買い物支援×交流》

・公民館が行っている出張講座に合わせ実施。交通手段がない方や、集まった方々にカフェを提供したり、日用品等を販売。また、ローソン高津店にご協力いただいで移動販売（地区内3ヶ所）を実施。

### 【団体長メッセージ】

令和7年度から「ときめきの里 真砂」の会長職をお引き受けすることになりました。

真砂地区の人口は、現在300人を割り高齢化率56.0%、特に後期高齢者の割合は約3割近くになっています。こうした情勢の中、いかに「地域づくり」を進めていくかということですが、「地域づくり」とは究極そこに住む人の「幸せづくり」と云えるものだと思います。年齢、性別、地利的状況、経済的状況、家庭環境等人それぞれですが、「今私は幸せだ」と思ってもらえるような地域を作っていくことが肝要だと思います。事業的には今までの事業を継承しつつ、「お互い様の精神」で共に助け合う「共助の精神」の涵養が持続可能な地域づくりにつながるものだと思います。



# 島根県益田市真砂地区

## ⑤こんなことが話し合われています



### 定期総会(4月)

益田市立地域活性化交流館、メディアルームにて実施。  
前年度事業報告・決算報告  
新年度事業計画・収支予算案の承認



### 視察

- ・文科省
- ・青垣福祉会(兵庫県)
- ・秋田県立大学
- ・下岩川地域づくり協議会
- ・岡山県真庭市民生児童委員
- ・愛媛県松山市久万高原町教育委員会
- ・筑波大学
- ・広島大学



### さくらの管理講習会

講師:大森樹医  
複合施設の桜を見て歩きながら今の桜の状態や、今後も綺麗な花を咲かせてもらうためにどのようなことが必要か教えていただいた



### 子ども会議

駄菓子屋で子どもが集まるタイミングを利用し、つろうて子育て協議会が主催し長期休みの過ごし方を保護者と一緒に話し合った。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています

### きずな部会 多世代交流イベント



### 支え合い部会 認知症予防カフェ



目的: 認知症の予防と家族へのケア、及び地域全体での理解促進を目的とし、設立以降毎年継続中。

概要: 年4回、デイサービスひぐらし苑等で実施(送迎付き)。みんなでおしゃべりをしたり、梨狩りに出かけたりと楽しいひと時を過ごした。また今年度は防災講座も行った。

### 地域活動拠点 ひら山のふもとカフェtele-glue(てれぐれえ) 日用品販売・出張販売



目的: 地区内に商店がないため、買い物が困難な住民のために生活必需品の販売を行い、多目的で自然に住民が集う場所づくりを行う。

概要: 地域と企業の協働による生活機能モデル事業(R6年度実施)

tele-glue週3日程度(月・火・金)開店。出張販売は公民館事業の手芸教室に合わせ月1回実施

目的: 地域の子どもと大人が様々な活動によりつながることで、子どもたちの思い出づくりと地域への愛着形成を、また大人が活動を通して地域の子どもたちの性質を把握したり様々なことを伝えることで次世代育成を図る。

概要: ①「真砂バル」  
6月29日(日)市内4店舗からシェフに来ていただいて実施

②「親子で川遊び」  
8月2日(土)子どもたちの夏休み活動の一環として柿原地区で川遊びを実施

③「大学生と夏休みの勉強会」  
8月25日 ボランティアハウスと共催で、真砂出身の大学生数名を講師に迎え、小中学生の夏休みの宿題を教えもらいながら交流した。

④「みんなでラジオ体操」  
7~8月、全5回実施

### 支え合い部会 ふれあいサロン



目的: 公民館やひぐらし苑とコラボしてふだん会えない地区の方と交流したり、手作業を通じて活性化を図り笑顔で過ごせる場を作る。

概要: 月1回実施(送迎付き)

### 地域活動拠点 ひら山のふもとカフェtele-glue(てれぐれえ) 駄菓子屋



目的: 昔懐かしい駄菓子販売することで小学生・保育園児・郷愁感に浸る住民も通う場所になり、多世代交流ができる地域の拠点となることを目指していく。

概要: 週2日程度実施。

### お問い合わせ先

【ときめきの里 真砂 事務局】  
〒698-0041 益田市波田町イ490-1 ひら山のふもとカフェtele-glue横  
TEL/FAX 0856-26-0002(真砂公民館内)  
HP(真砂+) <http://masagoplus.jp/>  
Facebook(真砂+) <https://www.facebook.com/masagoplus/>



# 島根県益田市西益田地区

地域づくりのテーマ：人づくり、場づくり、出会いづくり、つながりづくり



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口、高齢化率(令和7年12月末時点)  
 人口 3461人(1697世帯)  
 高齢化率 47.4%

### 【地区の魅力】

- ・清流高津川に匹見川が流れ込む、自然と景観に恵まれた地域
- ・世代を超えたともに住み続ける地区にしようとする住民意識
- ・多くを受け入れ、地域に活かそうとする風潮

### 【地区の課題】

- ・高齢化率の上昇
- ・地区の広さにより、色々行き届かない懸念
- ・担い手不足

## ②実施団体の概要

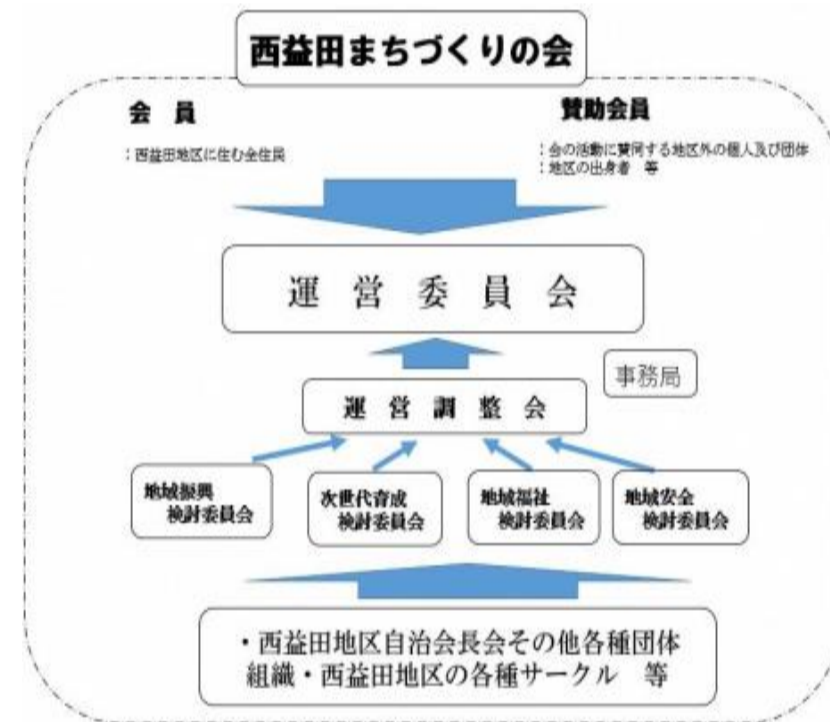
### 【団体の名称】

- ・西益田まちづくりの会

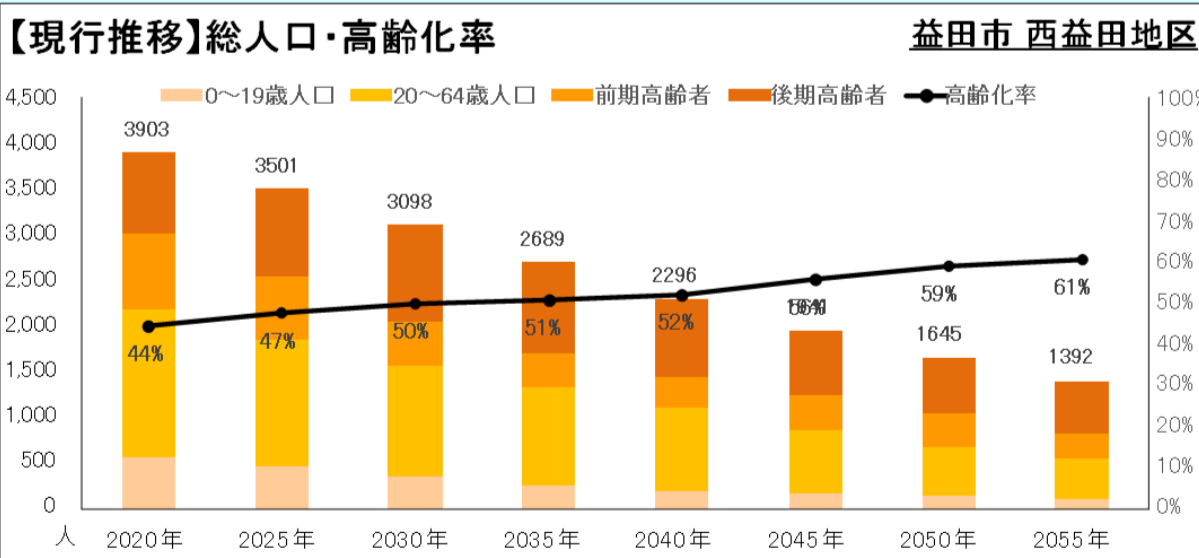
### 【構成団体、構成員】

- ・連合自治会
- ・地区社会福祉協議会
- ・商工会議所 西益田支部
- ・地区青少年育成市民会議
- ・地区つろうて子育て協議会
- ・西益田豊田公民館
- ・地区から選出された検討委員会
- ・地域住民

### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

- ・西益田まちづくりの会 運営委員会
- 各検討委員会のつながりの確保
- まちづくり活動特別補助金の利活用検討
- ・西益田まちづくりの会に各問題に取り組む検討委員会を設置
- 地域振興検討委員会  
イルミネーションの設置や空き家対策の検討など
- 次世代育成検討委員会  
世代間交流のためのイベント開催など
- 地域安全検討委員会  
防災意識や鳥獣害対策の講習会開催など
- 地域福祉検討委員会  
地域の困りごとの解決に向けて検討など

## 団体長の写真



## 【団体長メッセージ】

「西益田まちづくりの会」は、地域の自治会長と地元の各団体から構成され、地域住民が会員となって7年目の自治組織団体です。地域の課題はもちろん、目標となる地域の姿に向かって「検討」を重ねて事業や活動を行っています。10年計画の後半5年に入って、軌道修正する事案も有りますが、運営委員・検討委員・地域住民が力を合わせて、取り組んでいきます。

# 島根県益田市西益田地区

## ⑤こんなことが話し合われています



○定期総会  
前年度の決算と今年度の予算、会の人事などの決議と承認  
主に予算と計画について、議論・確認が行われる



○地域振興検討委員会  
今年度始まってすぐから、夏冬の「おかえりなさいのぼり旗」や冬のイルミネーション設置に関して検討が進められ、メンバーの有志で空き家プロジェクトを立ち上げている



○鳥獣被害対策講習会  
西益田地区でも農作物への被害があるため、今年度は地元の猟友会の会長に講演をして頂いた  
現場の話に、参加者はとても興味深く聞き入っていた



○地域福祉検討委員会  
主に買い物支援事業を検討し、引き続きローソンの移動販売を利用するなどを決議  
買い物支援だけではなく、見守り活動についても検討している

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



○自転車イベント(きらりライド)  
次世代育成検討委員会が主催して、広く住民に参加を呼び掛けている  
令和6年度からの開催で、今年が2回目ではあるが、今後も継続して開催して欲しいと、参加者からの声もある  
苛酷になりがちな自転車イベントだが、広い世代の参加者が楽しめる内容となっており、自転車の安全運転にもつながるコーナーも、市のスポーツ協会の方に監修してもらって好評だった

○イルミネーションの設置  
地域振興検討委員会が呼びかけて、市営住宅の横の空き地に設置している  
地域の方が集い、季節を感じながら交流ができる場所として、広く知られるところとなってきている  
設置には、西益田まちづくりの会の各検討委員会や運営委員会から有志が参加して、年々素晴らしいモノになっている

○買い物支援  
地域福祉検討委員会の事業としてローソンの移動販売車を利用して実施  
毎月第3・4木曜日に、ひとが集まりやすい時間帯を意識して午後に依頼  
常に7人からの利用者がおられ、概ね好評である  
なかには、わざわざ手押し車を押しながら、散歩のついでに来られる方もいらっしゃいます

お問い合わせ先

〒699-5132  
島根県益田市横田町454-3  
西益田まちづくりの会(豊田公民館内)  
TEL:0856-25-2222(FAX兼)



Facebook



NISHIDAMASU  
Instagram



# 島根県益田市二条地区

地域づくりのテーマ： 里山をいかし、人と自然がつながる二条 『みんなで つろうて ようしようやあ』



二条ふれあい祭りのようす

## ①地区の概要

【地区の現況】(令和7年12月末時点)

人口 : 404名(男性:198名、女性:206名)  
世帯数 : 224世帯(自治体数:5)  
高齢化率:57.4%

【地区の魅力】

二条地区は、益田市の西端に位置する比較的標高差のない中山間地域です。中心には益田市指定文化財の横山城址があり、6月には二条川に多くのゲンジボタルが飛び交う、四季うつくしい自然が寄り添う地域です。児童10人が通う桂平小学校には、今年度からコミュニティ・スクールが導入されています。

【地区の課題】

- 子育て世代の定住促進と受け入れ態勢の整備
- 交通空白、買い物空白へのアプローチ
- 耕作放棄地や放置竹林、支障木の解消
- 地域づくりを担う世代間の連携強化

## ②実施団体の概要

【団体の名称】

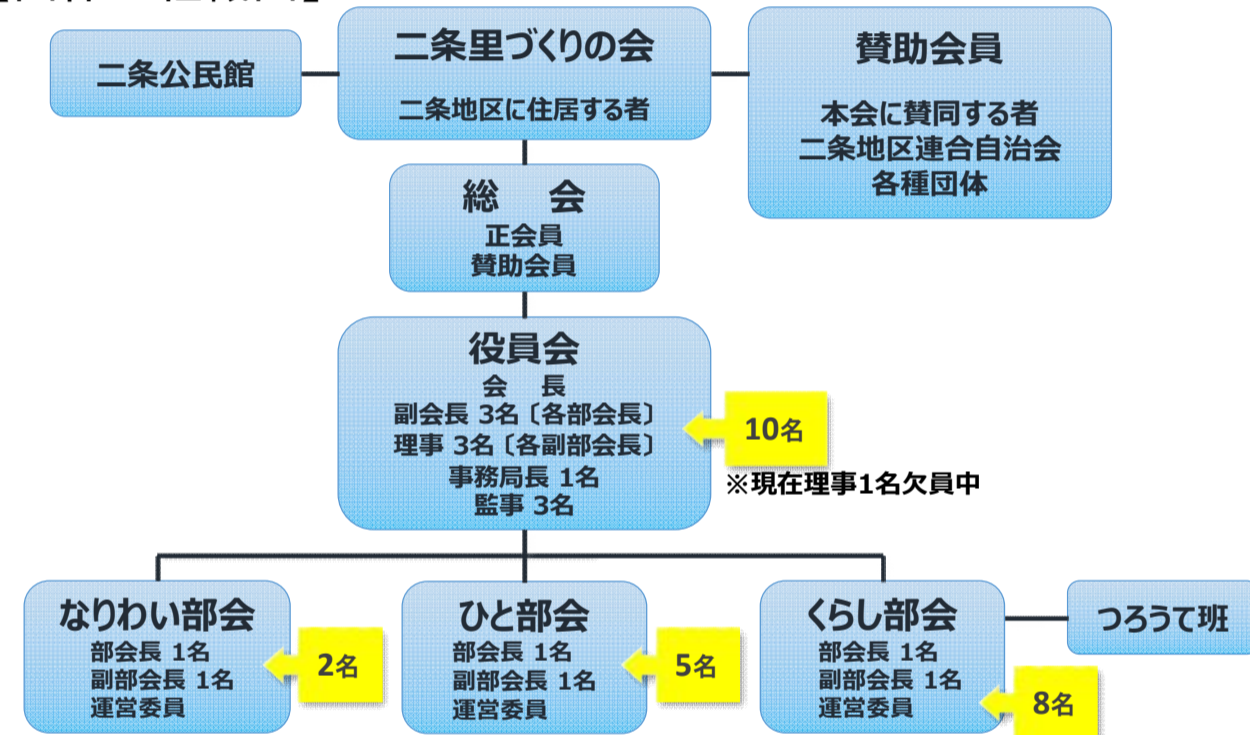
地域自治組織

### 二条里づくりの会

【構成団体、構成員】

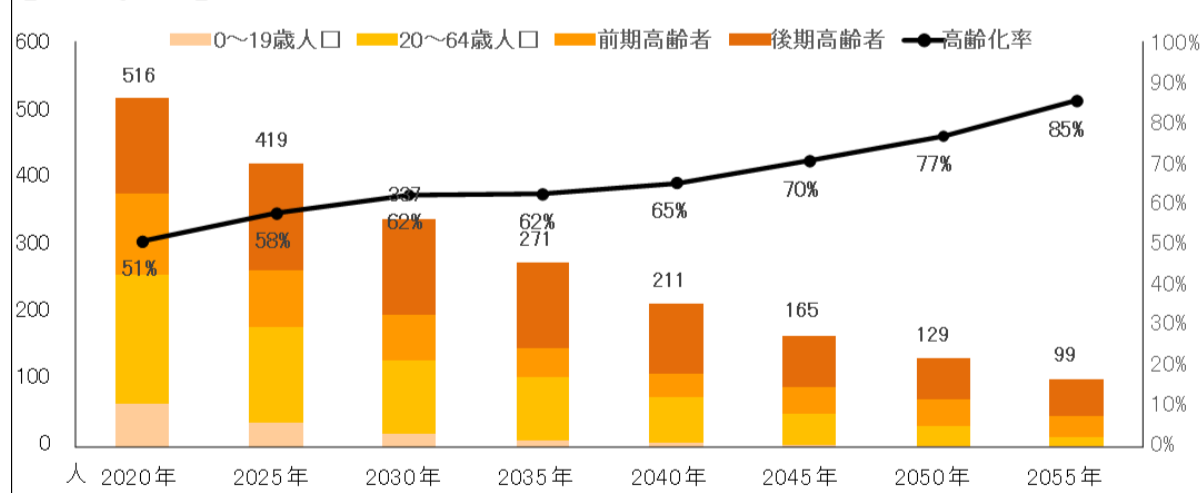
- ・ 役員・運営委員 全20名
- ・ なりわい部会 2名 ※副部会長欠員中
- ・ ひと部会 5名
- ・ くらし部会 8名
- ・ 監事 3名
- ・ 事務局長 1名
- ・ 事務局員 1名

【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率 益田市 二条地区



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組



【団体長メッセージ】令和6年11月から令和7年10月迄の1年間実証実験として取り組んで来ました「送迎サービス」事業は、19名の会員登録者を対象に延べ69回の利用がありました。この間ボランティアで運転に携わっていただいたドライバーの皆さんを始め、登録に際して聞き取りを行って下さった二条公民館の方々に改めて御礼申し上げます。令和7年度後半からは従来の事業に加えて「二条移住プロジェクト」もスタートさせました。新しく赴任された桂平小学校のコーディネーター岩坂菜月さん(なっちゃん)とも協同して子供たちには「より多くの原体験！」現役世代には「明日への希望！」高齢者世代には「日々の暮らしの安心感！」を目標に引き続き様々な活動に取り組んで参ります。地域の皆様全員に「里づくりの会」があって良かったと思って頂くことはできませんが、本当に困った時に「里づくりの会」があって良かったと思っただけのよう、お困りごとを解決して、地域のセーフティーネットになれるよう努力して参ります。引き続き、地域の皆様のご理解とご支援そして地域で開催される各種行事への積極的なご参加をお願い申し上げます。(佐藤伸廣)

# 島根県益田市二条地区

## ⑤こんなことが話し合われています



### 5月 令和7年度定期総会

- ・出席者 24名、委任状 95通
- ・令和6年度の事業報告および収支決算と監査報告を行いました。
- ・令和7年度事業計画案・予算案についても説明があり、承認されました。



### 9月 視察研修（萩市佐々並地区）

- ・参加者 13名（小中学生も同行）
- ・移住定住促進活動の先行事例について視察研修と意見交換会を行いました。
- ・交流促進施設「みなくる」にて、児童数確保のための魅力発信活動に取り組む「ささづ広援隊」より、小学校と住まいの見学会や空き家見学についてお話を伺いました。



### 9月 第2回役員会

- ・出席者 10名
- ・9月開催の益田INAKAライドに向けて、当日設置するエイドステーション(桂平小学校)の運営にあたり、事前の準備や地域住民へのボランティア募集について等が話し合われました。
- ・まちづくり活動特別補助金の申請について、経過や今後の流れを確認しました。



### 12月 視察団受け入れ

- ・出席者 4名、視察団 10名
- ・地域自治組織「匹見上清流の郷」より視察団を迎え、くらし部会から“地域の防災”についての取組紹介や、意見交換会が行われました。
- ・地域で暮らし続けていくという思いのもと、地域に適した備えの在り方から鳥獣対策について等の意見が交わされました。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



### つろうて班・里山環境保全

#### 【桂平小収穫祭】

児童に自分たちで育てた作物の収穫の喜びを知ってもらい、お世話になった地域の方へ感謝を伝えること。そして二条での地域活動の楽しさを多世代間で共有できるイベントを目指し、つろうて班が主催を引き継いで収穫祭を開催しています。

当日は児童らが自分たちで飯ごう炊さんや具だくさんの汁などの料理を作ります。里づくりの会の防災備品である大釜も活用されました。

#### 【横山城応援隊】

ひと部会を中心に、里山環境保全に取り組んでいます。横山城応援隊は横山城址周辺の環境整備(草刈り・伐採)を年4回行っており、4月には連合自治会主催の横山城址健康ウォークが開催されています。

### 二条移住プロジェクト

#### 【若い世代の二条移住を促すプロジェクト】

若い世代の移住定住促進を目的として今年度から始動した移住プロジェクトには、部会や所属の垣根を越えたメンバーが集まりました。

今後は小学校との連携や、住まい等の移住受け入れ態勢の整備にも活動を発展させていきたいです。

#### 【WEBサイト制作】

二条移住プロジェクトの活動のひとつとして、子育て世代を主なターゲットとしたホームページを制作中です。掲載用写真の撮影会は天候にも恵まれ、撮影後には桂平小学校にて手作りおでんを食べながらの交流会も開催されました。

二条での暮らしの魅力が伝わるホームページになるよう、地域の皆さんにも聞き取りを行う等、楽しみながら活動しています。

### 地域移送事業・移動販売事業

#### 【地域移送事業】

交通空白地帯の解消を目的として、聞き取り調査と登録を行った利用者(現在19名)に対し、登録運転手が通院や買い物への送迎を支援します。

4名の運転手(ボランティア)は安全運転者講習を修了し、発着時にはアルコールチェックを行う等のルールのもと運営しています。

#### 【移動販売事業】

買い物空白地の解消を目的として、移動スーパーとくし丸(毎週月曜日)、ローソン販売車(毎週木曜日)、灯油販売(冬季月2回)を公民館前にて開催しています。

今年度は、桂平小コーディネーター発案の「勝手にカフェ」を同時開催し、買い物利用者だけにとどまらない地域住民が集まる場になっています。

お問い合わせ先



## 二条里づくりの会 (事務局：二条公民館内)

所在地 : 〒698-2254 島根県益田市桂平町76番地1

TEL/FAX : 0856-29-0001

ホームページ : <https://nijo2project.wixsite.com/website>

Facebook : <https://www.facebook.com/nijo2project>



NIJO2PROJECT

# 島根県益田市美濃地区

地域づくりのテーマ：「あたたかな絆に支えられ、みんなが安心して暮らせる美濃づくり」



戦国時代にさかのぼる山城・桜田城跡から望む美濃の里の景色です。緑の山々に囲まれた美しい地域です。

## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口260人、高齢化率58.1%（令和7年12月末時点）

### 【地区の魅力】

住民ボランティアにより里山の豊かで美しい景観の維持向上が図られています。近年では耕作放棄地対策と景観向上を目的にひまわりと菜の花を一面に咲かせており、住む人を癒すだけでなく地区外の多くの方が見学に来られています。

また、地区内には中世の山城「桜田城」跡をはじめ多くの史跡が残されており、豊かで深い歴史が今も息づいています。

### 【地区の課題】

まちづくり活動は地域に住む住民の手で進められますが、まちづくりの担い手は年々歳を重ねます。少子高齢化は待ったなしでやってきます。誰がこれからのまちづくりをするのか。少しでも多くの仲間を増やし、まちづくりを進めていく努力が必要です。

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

はつらつ美濃の里（平成29年5月27日設立）

### 【構成団体、構成員】

委員数 28名（うち役員 12名）

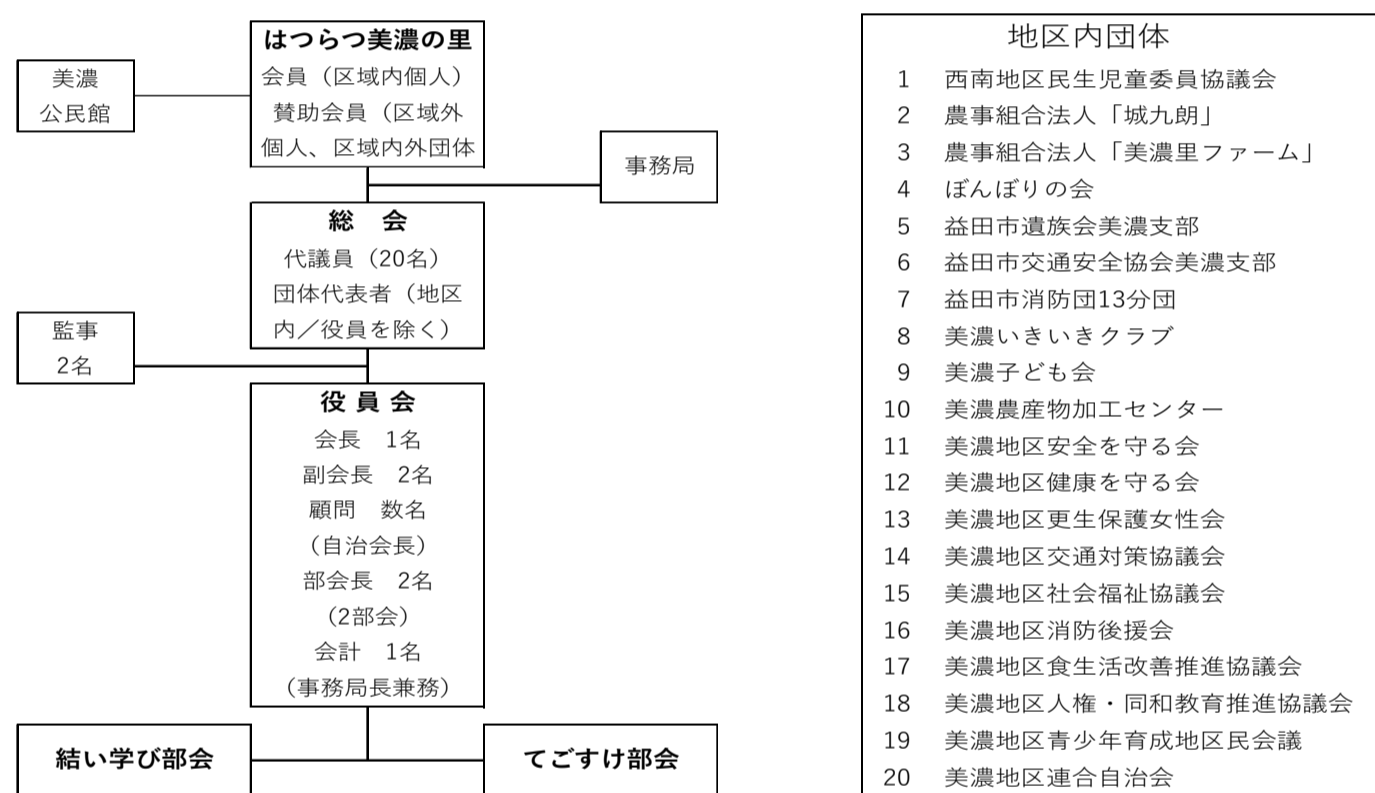
事務局長（会計）1名、事務員 1名

◆美濃地区連合自治会……6名

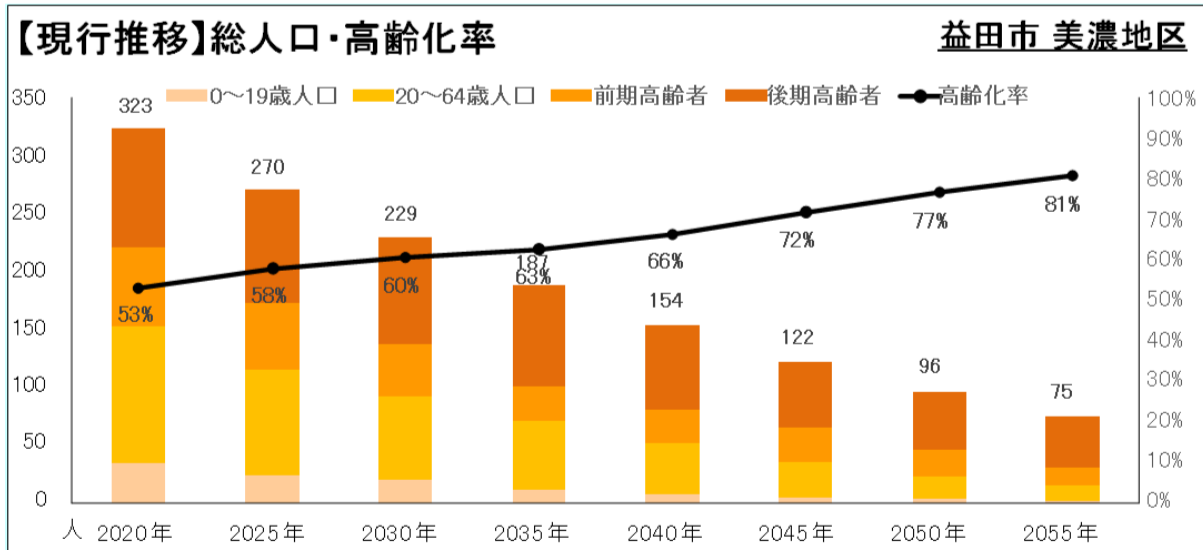
◆自治組織代議員………20名

◆区域内団体………20団体

地域自治組織 はつらつ美濃の里 組織図



## ③地区の人口シミュレーション



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

- 「共に学び、絆をつくる」：結い学び部会
  - ・地区外へ自治組織だよりを郵送（広報誌含む）
  - ・歴史の掘り起こしと継承事業（伝統行事・山城整備・看板）
  - ・どんど焼き（子ども達への参加案内）
  - ・スマホ相談会、LINE活用
  - ・啓発活動（救命講習の開催）
- 「共に支え合える美濃」：てごすけ部会
  - ・外出支援事業「てごすけ号」の運行
  - ・各種草刈機の貸出事業
  - ・おたすけ隊事業（軽作業、休耕田・法面の草刈り）
  - ・ひまわり畑、菜の花畑の播種と管理
- 「人をつなぎ、未来へつなぐ」：その他
  - ・人を呼び込み、集うことで地域の活性化に繋げる
  - ・環境保全整備事業／地区内行事の実行支援
- ◆「灯り」が照らす地域の再生事業：ぼんぼりの会
  - ・ぼんぼりロード（盆）イルミネーション（クリスマス・正月）



「はつらつ美濃の里」設立10年、令和7年は第三期まちづくりプランの作成に始まり、継続と新たな問題を話し合う年となりました。設立当初とは大きく変わり少子高齢化の波が押し寄せる中、安心して暮らせる美濃づくり、地域と共に支え合う美濃づくりを目指して取り組みを進めていきます。

地域自治組織「はつらつ美濃の里」会長 島田正樹

# 島根県益田市美濃地区

## ⑤こんなことが話し合われています



定期総会(5月)  
前年度事業報告・決算報告  
新年度事業計画案・収支予算案の承認  
第3期まちづくりプラン及び活動計画(令和7年度～令和9年度)の承認



合同部会  
まちづくり活動特別補助金の申請。  
今回は農地や生活環境の保全のためにイノシシの箱罾を購入し設置することになりました。(設置は美濃地区猟友会が行います)



結い学び部会  
活動内容を話し合います。  
歴史ウオークのコースや史跡紹介について意見を出しています。



てごすけ部会  
活動内容を話し合います。  
ひまわりの播種や草刈のタイミングなど。ひまわりの後に植える菜の花についても検討しています。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



2025/10/11  
歴史ウオーク



顔出し看板作成



盆踊り



桜田城山道整備



ひまわり畑



ふれあい祭り



はつらつ展



菜の花畑



どんど焼き



イルミネーション

美濃郡発祥の地であります美濃地区には、古代から豊かで深い歴史が底流をなし、多くの史跡や文化財などが奇跡のように残されています。

歴史ウオークや史跡を整備することにより、古の郷里をいっそう深く知り、楽しむことができるようになります。これからは美濃の大切な歴史を語り継いでいくことが大切です。

「ひまわり」は近年、美濃の代名詞のように広く市内外の方々に知られる存在となっております。もともとは地区の有志が町の中心部に広がる農地にひまわりを植えたのが始まりです。毎年畑一面に咲く黄色い大輪の花は多くの人々の目を楽しませてくれております。

また、春には菜の花を咲かせておりますので観に来てください。

地域で行われる行事やイベントに積極的に関わっております。お盆には帰省された多くの方が踊りの輪に加わっておられました。

数年にわたるコロナウイルスの流行で多くの行事が行われなくなりましたが、住民のみなさんが集い・楽しめる場を少しでも多く作り続けていけるよう活動していきます。

お問い合わせ先

【〒699-3766 島根県益田市美濃地町イ146】

地域自治組織:はつらつ美濃の里  
益田市美濃公民館内

TEL:0856-29-0031 (FAX:同) E-mail:csc-mino@city.masuda.lg.jp

# 島根県益田市小野地区

地域づくりのテーマ:「海・山の恵みを活かす小野の里」



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口: 1,226人 世帯数: 592世帯  
高齢化率: 52.45% (令和7年12月末現在)

### 【地区の魅力】

小野地区は、島根県西端に位置し、海岸沿いで山口県萩市と接しており、古来「柿本人麿」生誕地として伝承されている。

益田十景にも2ヶ所が選ばれており、人形峠から見る雄大な景観と三里ヶ浜の観音岩から見る夕日は絶賛され、その他小浜の海岸は、東山魁夷画伯が皇居新宮殿及び奈良唐招提寺の壁画のモチーフにした地である。(写真は宮ヶ島衣毘須神社の風景)

### 【地区の課題】

少子・高齢化の進行に伴い、拠点となる生活ゾーンの基本機能が消失してきており、とりわけ診療施設及び生活用店舗が減少し、生活不安が拡大している。

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

夢あふれる小野の里

### 【構成団体、構成員】

- 各自治会の会長・副会長
- 地区老人クラブ連合会会長
- 地区食生活改善推進協議会会長
- 地区民生児童委員協議会民生児童委員(女性委員)
- 交通安全協会支部長
- 地区青少年健全育成協議会会長
- 地区更生保護女性会会長
- 地区健康と福祉を推進する会会長
- 商工会支部代表
- 戸田小愛育会会長
- 一般会員
- 地区民生児童委員協議会会長
- 地区社会福祉協議会会長
- 自主防災組織連絡協議会会長
- 益田市消防団第14分団長
- 地区交通対策協議会会長
- 地区安全を守る会会長
- 地区つろうて子育て協議会代表
- 子ども会代表
- 小野中PTA会長
- 地区人権・同和教育推進協議会会長

### 【団体の組織図】

#### 《役員会・運営委員会の構成》

(役員会)  
 会長・副会長・事務局長  
 理事(3名)・部長(3名)  
 副部長(3名)

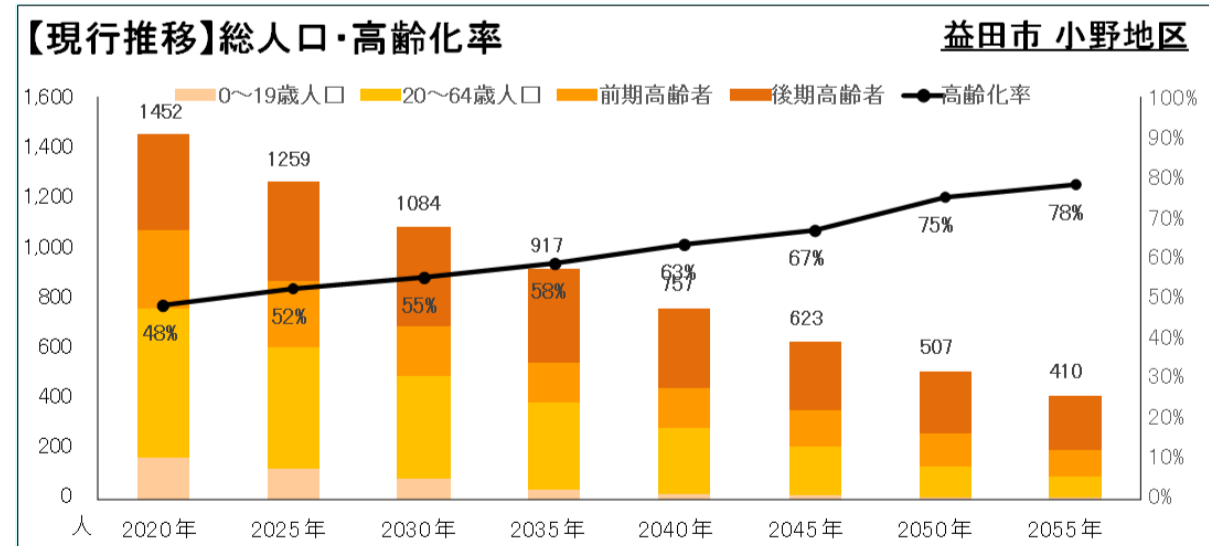
#### 《運営委員会》

構成員  
 (団体代表)  
 26名

構成員  
 (一般)  
 14名

【サポート】  
 小野公民館

## ③地区の人口シミュレーション



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

- おの産直市  
令和元年度より本格的に取組を開始し、現状では毎年11月から12月に1回定期で開催している。
- 「子ども見守り活動」の支援  
令和2年度から活動を開始し、現在も継続実施している。
- 「草刈り隊活動」の支援  
令和2年度から活動を開始し、現在も継続実施している。
- 地域づくり学習会  
地区内有志で構成する実行委員会が、地域のことを語り合う会「おのひとまるミーティング」を定期的に企画・開催している。
- 灯りをともすイベント  
地区内若者世代有志(しゃべり場)の皆さんが、灯籠の灯りで地域を明るくしようということで、毎年イベントを企画している。
- 休日カフェ  
地区内有志による「まるCafe」を定期的に開店している。

## 団体長の写真



## 【団体長メッセージ】

小野地区は、従来より少子高齢化が進行し大きな課題となっていた。近年に至っては、小野中学校の高津中学校への統合を始めとする地区内で唯一の中学校ですら維持できない状況に追い込まれている。このような中、役員若返りが図られ、その新しい発想と行動力によって、地区内に新たな賑わいを取り戻そうと「ひとまるミーティング」、「小浜cafe」、「明るく灯そうキャンドルフェスタ」、「まるcaféマルシェ」等の取組みが行われ、地区内外に小野地区の魅力再認識・発信する動きが出てきたことは明るい兆しでもあり、期待しているところである。

(夢あふれる小野の里 会長 大賀 秀毅)

# 島根県益田市小野地区

## ⑤こんなことが話し合われています。



### 【役員会】

年度当初、年末、年度末等、その他必要に応じて役員会を開催し、各専門部会の事業計画や進捗状況等について協議を行っている。



### 【防災環境部の会議・取組】

防災環境部では、地区内の「草刈り活動」や、「子ども見守り活動」等について協議・支援を行った。また、「鳥獣被害対策」について協議し、駆除に向けた対応を実施した。



### 【健康福祉部の会議・取組】

当部会の取組みとして、「がん検診」受診に対する啓発活動の実施や、「認知症サポーター講習」、「AED操作研修」等の開催について企画・実施した。



### 【生涯学習産業部の会議・取組】

生涯学習産業部では、主に「おの産直市」や「地域の学習活動」の実施計画等について、協議を行った。  
今年度も「地域づくり学習会（おのひとまるミーティング）」を1月下旬に実施予定。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています。



### ■ 「おの産直市」

（生涯学習産業部会の取組）

コロナ禍以降、毎年11月から12月にかけて年間1回の産直市を開催している。

今年度は、11月末に行われた「歳末チャリティー ふるさと祭り」と同日に開催した。暖かい好天に恵まれ、地区内外から多くの方が来場し、余芸や各店舗での買い物を楽しみ、とても賑やかなイベントであった。

### ■ 鳥獣被害対策の推進

（防災環境部会の取組）

鳥獣被害対策について、以下の対策を実施した。

◎「サル対策」～各地域ごとに担当者を選任し、「追払い煙火」の打ち上げを実施した。

◎「イノシシ対策」～当自治組織で「捕獲用檻」を購入し、地区猟友会と連携して捕獲檻を設置した。

### ■ 「しゃべり場」の活動

（防災環境部会の取組）

若者の交流の場「しゃべり場」の活動として、灯籠の灯りで地域を明るくしようということで、7月に「衣毘須神社」、12月に小野公民館において「灯りをともすイベント」を開催した。

また、災害時に対応するための子ども向け用「防災デイキャンプ」を企画し、10月に戸田小学校において開催した。



### ■ Iターン者交流会

（防災環境部会の取組）

当部会の課題である「Iターン者との交流」について、小浜地区に定住された方を対象として初めての交流会（小浜Café）を実施した。

地元自治会関係者、当自治組織関係者を含め12名が参加し、「小野地区の魅力、地域に求める事」等、気楽に意見交換を行い有意義なひと時を過ごした。



### 【地域自治組織の所在地・名称・電話・ファックスHP・FBなど】

お問い合わせ先

夢あふれる小野の里

〒699-3763

益田市戸田町イ501番地

電話・FAX: 0856(28)0001

# 島根県益田市中西地区

地域づくりのテーマ：「いつまでも、いきいきと、暮らし続けられるまちへ」



## ①地区の概要

【地区の現況】(令和7年12月末時点)

人口:1,626人、世帯数:746世帯、高齢化率:45.7%

市の中心部から西に約10kmのところのところに位置し、高津川・白上川流域の平坦な田園地帯と棚田(日本棚田100選)その周辺の山間・丘陵部で構成されている地域です。

【地区の魅力】

- ・大道山と麓に広がる中垣内の棚田
- ・平坦な土地に広がる田園・農園
- ・国営西部開パイ事業
- ・石見臨空ファクトリーパーク

【地区の課題】

- ・交通支援対策
- ・不法投棄問題
- ・有害鳥獣駆除対策

## ②実施団体の概要

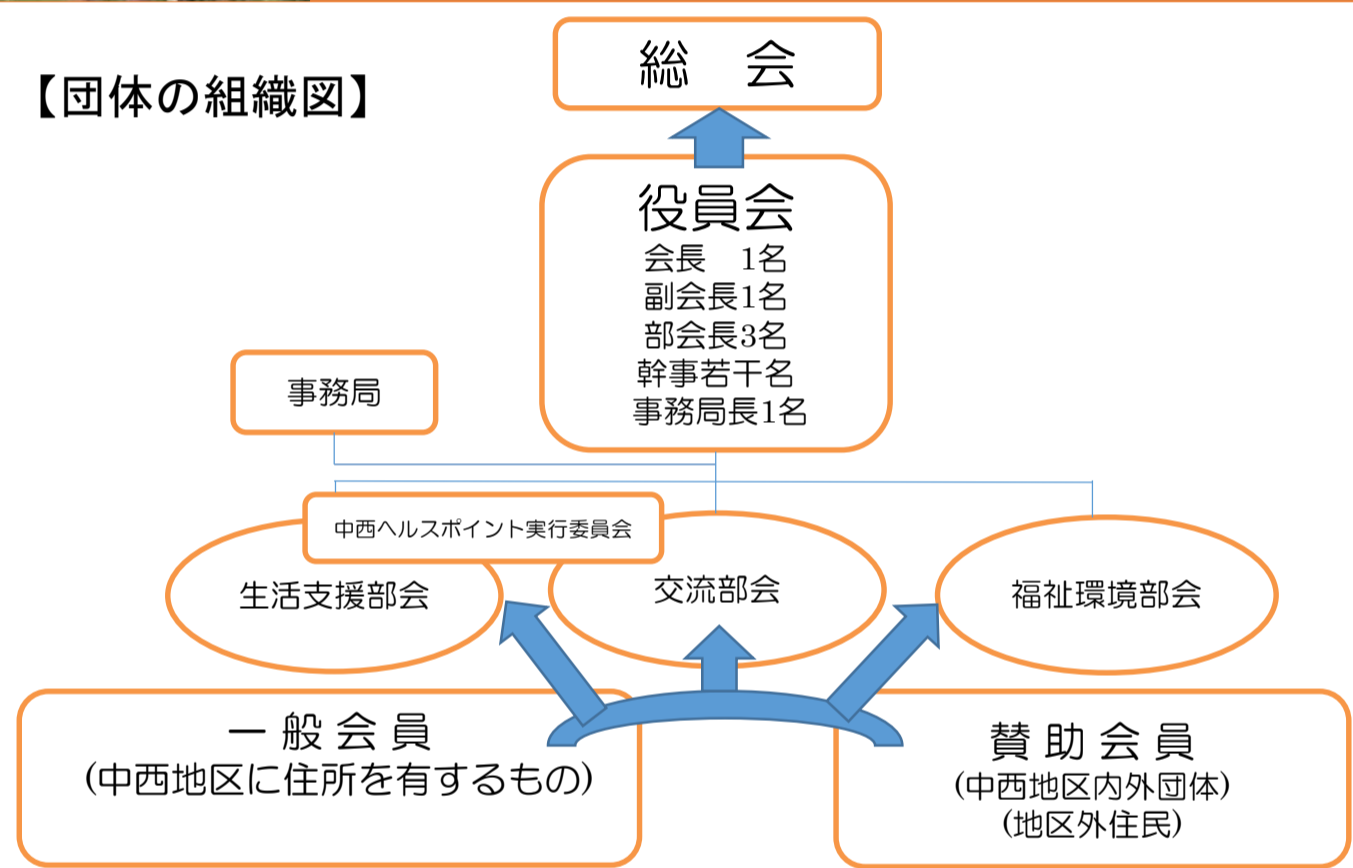
【団体の名称】

なかにし地域づくり協議会

【構成団体、構成員】

- ・各運営委員会
- ・地区連合自治会会長会
- ・地区老人クラブ連合会
- ・地区不法投棄見廻り隊
- ・地区食生活改善推進協議会
- ・地区小・中学校
- ・中西ヘルスポイント実行委員会
- ・中西いき生き市実施委員会
- ・中西何でもお助け隊 など

【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 中西地区



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

○地域自治組織「なかにし地域づくり協議会」企画・運営

### ◆生活支援部会

高齢となってもいつまでも生活するための支え合う仕組みづくりまたは定住促進

- ・交通対策
- ・何でもお助け隊
- ・空き家対策
- ・通院、買い物送迎サービス
- ・ハンマーナイフモア貸出

### ◆交流部会

世代間交流を活発にするとともに、地区外に出られた人に情報の発信をし、交流を深める。またこれらの活動を通じ小中高生にふるさとに愛着が持てる心を育てる

- ・いき生き朝市
- ・ニュースレター
- ・中西公民館ホームページ

### ◆福祉環境部会

いつまでも中西の地で暮らし続けられる様に生活環境の整備をする

- ・不法投棄見廻り隊
- ・花いっぱい運動
- ・荒廃農地活用
- ・有害動物対策

## 【団体長メッセージ】

なかにし地域づくり協議会は、今年度も事業計画に沿って、3つの部会が事業を進めてまいりました。いつまでも生活するための支え合う仕組みづくりを目指して行きたいと思っております。また、中西何でもお助け隊による高齢者や障がい者の通院や買い物の交通支援、草刈り・剪定、ハンマーナイフモア貸出等を行ってまいりたいと思っております。

なかにし地域づくり協議会 会長 青山静佳

# 島根県益田市中西地区

## ⑤こんなことが話し合われています



### 生活支援部会

令和7年7月7日に開催の結果、交通対策や空き家対策、何でもお助け隊等活動について協議、継続して行きたい。



### 交流部会

令和7年7月9日に開催の結果、いき活き朝市(継続)、ふるさと通信の発行(継続)、ふるさと宅急便(新規)活動について協議しました。



### 福祉環境部会

令和7年7月11日に開催の結果、不法投棄見廻り隊、有害動物対策、花いっぱい運動、荒廃農地活用等活動について協議しました。

### 何でもお助け隊事業説明会

令和7年9月12日に出席者 14名にて説明会開催。送迎・草刈り等で事故対応・保険に入っているかの等、意見あり。(現在隊員17名)

## ⑥こんな地域づくりを行なっています

### 《いき活き朝市》



毎月第3土曜日8時より開催、野菜や果物、惣菜、魚などを販売し、地域住民の食・交流の場として大好評です。

### 《不法投棄見廻り隊》



令和7年11月4日に中西小学校3.4年生19名教諭3名見廻り隊13名事務局2名にて3コースに分かれ、ゴミ袋約30袋回収しました。

### 《何でもお助け隊》



草刈の部、令和7年9月から12月までに10件の依頼を受け、草刈り機・ハンマーナイフモア使用して対応しました。

### 《中西地区スポ・レク大会》



昨年同様、令和7年9月28日運動会の代わりにスポレク大会(グランドゴルフ・ボッチャ・モルック)を開催。大勢の参加者で賑わいました。

### 《中西健康ウォーキング》



中西地区健康と福祉を考える会で4月6日羽原公園、5月11日大道山登山ウォーキングを開催。大勢の参加者で賑わいました。

### 《花いっぱい運動》



今年度も、明るい地域環境をつくる花いっぱい運動を行っています。

お問い合わせ先

〒698-2141  
島根県益田市白上町イ743-2  
「なかにし地域づくり協議会」(中西公民館内)  
TEL・FAX: (0856) 28-0501  
E-mail: csc-nakanishi@city.masuda.lg.jp



中西公民館HP



ピーちゃん

# 島根県益田市東仙道地区

地域づくりのテーマ: 助け合えるまちづくり



## ①地区の概要

【地区の現況】(令和7年12月末現在)

■人口 618人 ■世帯数 342戸 ■高齢化率 54.7%

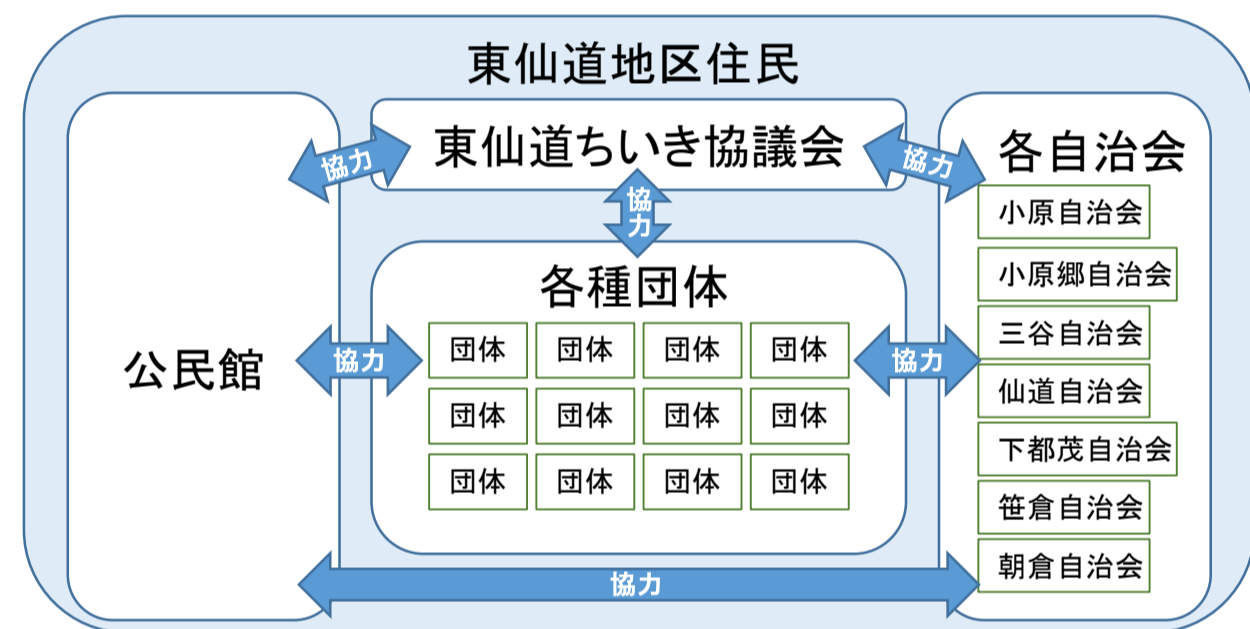
## 【地区の魅力】

多くの自然と歴史があり、その中でも四ツ山は東仙道を語る上で欠かせない存在です。また、「ひだまりパークみと」にはグラウンド・ゴルフ場、さくらドーム、サッカー場があり、市内外から多くの利用者が訪れています。特産品は柚子やいちご、メロン、米、ベビーリーフなどの農産物で、いちごについては、いちご狩りが観光交流につながっています。

## 【地区の課題】

少しですが新しい家が建ち、子育て世代の家族が定住しました。一方で市営住宅等に住む子育て世代の所得が上がるとともに家賃も上がり、地区外への転出を余儀なくされているという現状もあるので、変わらず保育所や小学校の児童減少が課題となっています。また、高齢者の独り暮らしや空き家が目立ってきたほか、担い手不足により除草作業等の生活環境維持が困難になりつつあります。

## 【団体の組織図】



## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

東仙道ちいき協議会

### 【構成団体、構成員】

仙道自治会 小原郷自治会 小原自治会 三谷自治会

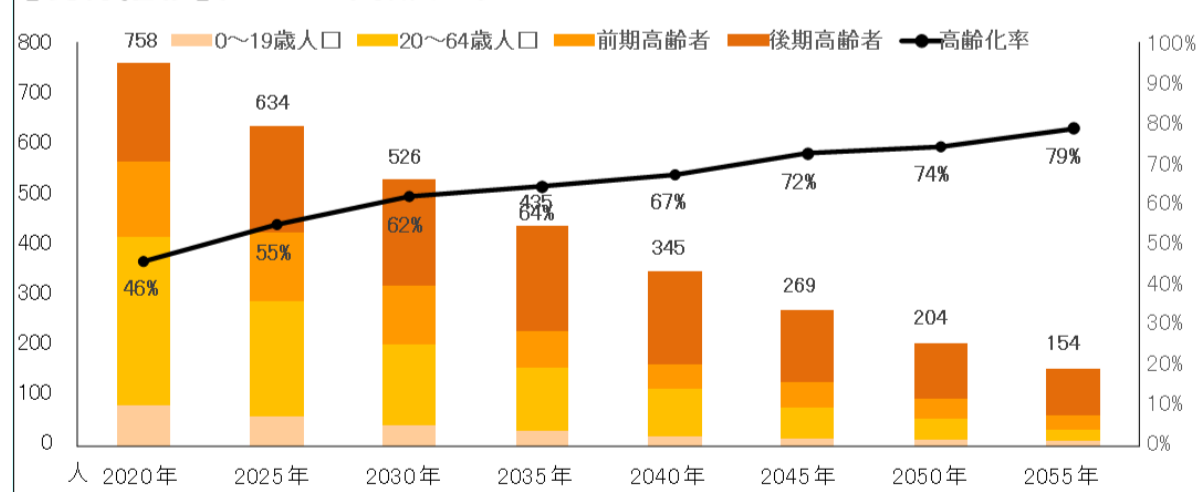
下都茂自治会 朝倉自治会 笹倉自治会

東仙道老人会連合会 東仙道青年団 東仙道婦人会

東仙道小学校PTA 他22団体、14企業

## ③地区の人口シミュレーション

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

### ■東仙道お助け隊

平成28年度に発足し、活動を続けています。令和6年度は、草刈りや庭の片付け等合わせて36件の依頼があり、のべ83名の隊員が作業にあたりました。

### ■ふるさとカレンダー事業

10年目となる今年度は「四ツ山のある風景」をテーマに、四季折々の四ツ山の風景で作成しました。

### ■東仙道寺子屋事業

放課後に小学校の空き教室を利用し地域のボランティアの方に見守っていただきながら宿題を済ませて帰るといった寺子屋事業を週1回実施しています。

### ■東仙道花園ライトアップ事業

令和2年度に「まちづくり活動特別補助金」を活用し開始した、彼岸花や、もみじ、桜など、1年を通して東仙道に咲く花や自然等をライトアップする事業を継続して実施しています。

### ■東仙道デジタルアーカイブ事業

令和7年度に「まちづくり活動特別補助金」を活用し開始した、現存する地域の映像をデジタル化して残すとともに、これからもデジタルで未来に残していく事業を始めました。

## 【団体長メッセージ】

今年度は石見交通の都茂線が廃止となり、10月から乗り合いタクシーの運行が始まりました。運行時間や本数は利用しやすいものになったので、買い物等でもっと利用してほしいと思います。交通問題だけでなく少子高齢化や担い手不足等、相変わらず問題は尽きませんが、子どもたちが元気に遊ぶ姿を見ていると、安心して住み続けられる東仙道地区を未来へ残していかなければ、と思います。

東仙道ちいき協議会会長 草野和馬



# 島根県益田市東仙道地区

## ⑤こんなことが話し合われています

総会の他、ちいき協議会委員会、各イベントの実行委員会を都度行いました。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています

### ■互助部会・・・東仙道お助け隊

高齢などの理由によって、草刈りが困難になった方の代わりに草刈りを請け負うのが基本ですが、木の伐採や庭木の剪定、畑や庭の片づけなど多岐にわたっての要望があり、出来る範囲で作業にあたりました。

また、(株)キヌヤさんの協力で行っている「お買い物バスツアー」も好評です。石見交通都茂線の廃止後、生活バスで買い物に出やすくなったものの、お買い物バスツアーはみんなでお出かけ感覚で行くことができると利用者さんは楽しみにしているようです。



### ■地域活性化部会・・・ふるさとカレンダープロジェクト、四ツ山歴史ウォーキング、 運動会、文化祭

「ふるさとカレンダー」は地区の魅力を再発見してもらおうと毎年テーマを変えて続けています。今年度は「四ツ山のある風景」をテーマに、四季折々の四ツ山の風景で作成しました。

「四ツ山歴史ウォーキング」は例年通り開催しました。

「運動会」は今年度より小学校の希望により9月から6月に変更し、開催しました。

「文化祭」は例年通り、今年度は3月1日開催予定です。

### ■福祉健康部会・・・東仙道寺子屋、グラウンド・ゴルフ大会、みんなでパン工房

放課後に小学校の空き教室を利用し、地域の方に見守っていただきながら宿題を済ませて帰るといふ寺子屋事業を例年通り行いました。今後の事業展開やボランティアさんの確保について協議していきたいです。

「グラウンド・ゴルフ大会」について今年度は11月開催となりましたが、悪天候のため中止しました。

みんなでパン工房は公民館と共催で親子を対象に「クリスマスケーキ作り」を行い、3組の親子7名の参加がありました。



### ■東仙道ちいき協議会・・・神寶山八幡宮のPR、東仙道花園ライトアップ事業、東仙道アーカイブ事業

令和2年度に「まちづくり活動特別補助金」を利用してスタートした、東仙道の自然を中心に四季を通じてライトアップし、地区の景観を良くするほか写真映えスポットとして地区内外へ魅力を発信し、交流人口増加を目指す“東仙道花園ライトアップ事業”を引き続き行っています。11月には国道沿いのもみじ、3月にはひだまりパークみと、三番道路、二か所の桜をライトアップする予定です。神寶山八幡宮については12月～1月に鳥居をライトアップしたほか、PR用のぼり旗を設置しました。

また、今年度の「まちづくり活動特別補助金」を利用して、公民館に残る文化祭のビデオをはじめとした地域に現存する過去の映像資料をデジタル化、保存するとともに現在の地域の風景や人々の暮らし、行事などを記録し未来への地域アーカイブとして残していく“東仙道アーカイブ事業”を行いました。デジタル化した地域の映像は同補助金で購入した大型スクリーンを使って文化祭等で上映するほか、編集後YouTube等で配信を行う予定です。

お問い合わせ先

〒698-0212

島根県益田市美都町仙道253-1

東仙道ちいき協議会【事務局】東仙道公民館内

TEL:0856-52-2540

FAX:0856-52-2193

東仙道ちいき協議会Facebook

<https://www.facebook.com/higasisendo/>

映え！東仙道Instagram

[www.instagram.com/higashisendo/](http://www.instagram.com/higashisendo/)



Facebook



Instagram

HIGASHISENDO

# 島根県益田市都茂地区

地域づくりのテーマ:「住みよい都茂、住みたい都茂、住み続けられる都茂」



## ①地区の概要 【地区の現況】

### 【地区の魅力】

都茂地区は「春の桜に秋の柚子」自然に囲まれた豊かな土地。人が優しく、治安が良い。旧美都町の中心地である事から、分庁舎、農協、郵便局、診療所、歯科、老人ホーム等があります。

### 【地区の課題】

少子高齢化、人口減少、物流不安、交通対策、農地管理、鳥獣被害対策などたくさんの課題があります。

平成26年3月から、都茂地区連合自治会が交通弱者の移動手段を提供する自治会輸送活動を住民ボランティアで開始し

地域で考え、助け合いの中で少しずつ課題解決に向けて取り組んでいきます。

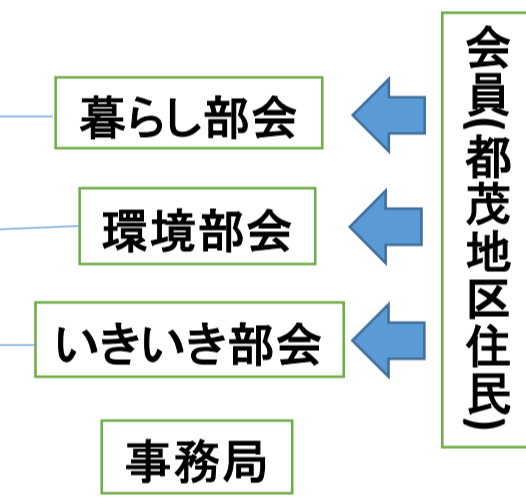
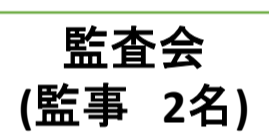
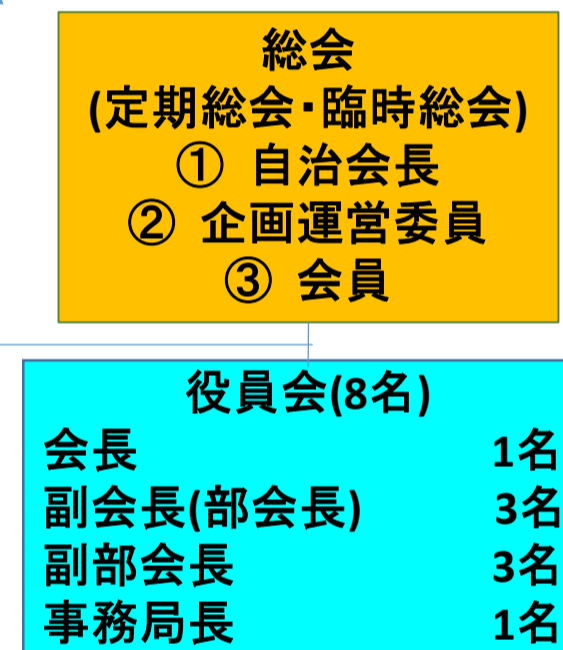
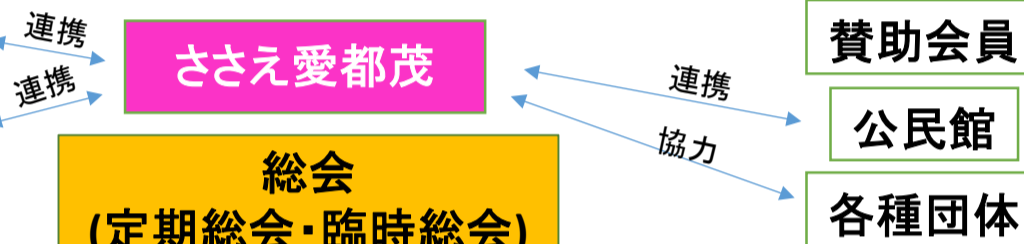
## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

都茂地域自治組織「ささえ愛 都茂」

### 【構成団体】

自治会長、企画運営委員、会員



### ささえ愛都茂 ~三つの柱~

#### ① 暮らしを守る

住んでる人が安心して暮らせる環境をつくれます。

#### ② 生活環境を守る

きれいな環境は、安全な生活、鳥獣対策につながります。

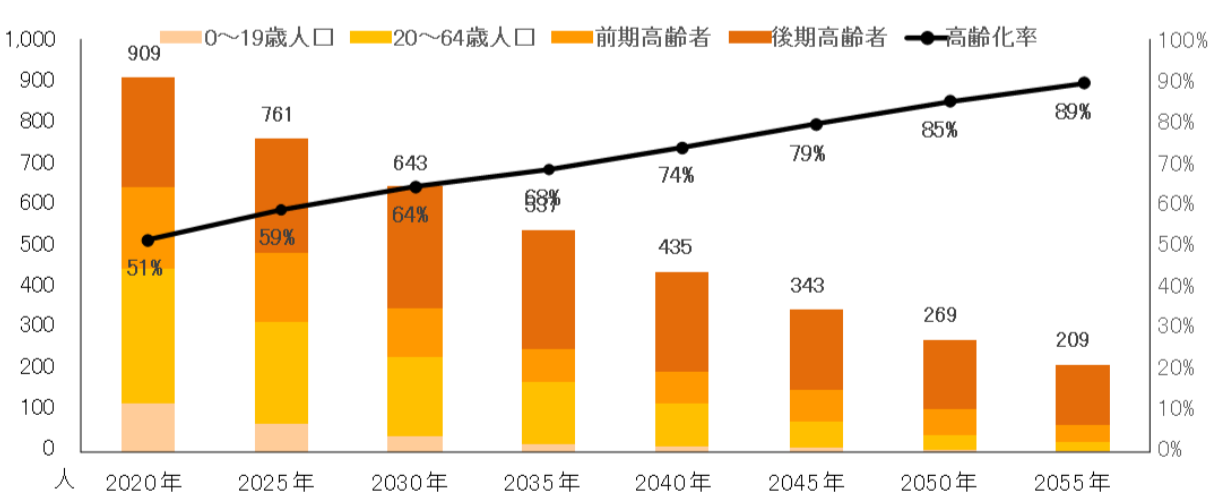
#### ③ 地域の資源を活かし活気を創る

住んでいる人が生きがいを感じ、活気あるまちづくりをします。

## ③地区の人口シミュレーション

### 【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 都茂地区



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

今年度は地域の大動脈とも言える、「公共交通: 都茂線の廃止」に対して、様々な住民ヒアリングや自治会長: 民生委員: 公民館長等を交えて代替え交通に対して陳情や要望を出しました。また、住民の意識の高さや地区民の呼びかけに公共交通を支えていた、石見交通の常務も検討会に参加して様々な経緯や要望を分析し地区民と解決策を練りました。

今後も益田市と都茂地区住民が同じ目線で集落作りに協力できたら良いと思いました。



### 【団体長メッセージ】

地域自治組織が発足し、各部会活動も活発に進んでいます。今年度は地区民一体となり、公共交通の問題に対応できました。地区の高齢化も進みますが、これからも一人一人の声を大事にお互い明るく笑って生活できる地区を目指して活動していきます。

# 島根県益田市都茂地区

## ⑤こんなことが話し合われています



### ●暮らし部会

#### ・自治会輸送(ささえ愛号輸送)

現代社会の壁に当たっているように、高齢者の社会進出が集落ボランティアに陰をさしています。集落の高齢化が著しく、運転手の減少に伴う対策協議を今後も続けています。

#### ・ささえ愛号活動

益田市では他地区にない、ボランティアタクシー事業も12年目に突入しました。今まで関わった運転手も52名を数え、75歳で定年になられる方も増えてきたので、定年者に地域の誇りと共に感謝状を送りました。



### ●環境部会

#### お助け隊

R2年度に設立。地域の市道や生活道、河川などの草刈り等を支援します。毎年、美都中学校の奉仕作業等にも参加し、個人宅の草刈も引き受ける事になり、地域の景観向上にも貢献しています。



#### ・ソーシャルネットワークの活用

正直、LINEを使用する事は事務局は距離が近すぎて大変です。ですが地区民と接する、昔の集落会を彷彿とさせるグループ会議で様々な住民とリアルタイムで対応しスムーズな意見交換や会議ができます。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



ささえ愛号



### ・交通弱者対策 (暮らし部会)

#### 都茂地区連合自治会輸送「ささえ愛」号

都茂地区連合自治会では平成26年3月10日から地域の人たちの外出を支援する自治会輸送活動を行っており、年間700人を超える人が利用「ささえ愛号が無ければもう都茂に住んでいない」と利用者から言われ高齢者の大切な足となっています。自治組織設立に伴い、令和2年4月より暮らし部会(住民ボランティア)で運行、今年で12年目となり、地域の高齢者等の外出手段として無くてはならない活動となっていますが、人口減少、高齢化により運転手の減少が予想され、今後の岐路に備え様々な情報交換や陳情を行政と協議する予定です。

#### ○利用実績

	運行日数	利用人数
R5年度	465回	515人
R6年度	557回	597人

### ・都茂文化祭で抽選会 (いきいき部会)

都茂の文化祭で抽選会を実施しました。また、いきいき部会長:廣兼さんが都茂地区での活動発表や、副部会長:久保さんが「つも歴史講座」で郷土史の歴史を深堀しています。

### ・自然愛護教育事業 (環境部会)

環境部会 齋藤正明部会長が、令和3前から個人で活動していたアユの放流を、今年度から環境部会の活動として取り組むこととし、5月1日に都茂川で都茂小全児童にアユ500匹の放流体験してもらいました。

この活動を通して、都茂の子どもたちや部会員に身近な自然に向き合い、関心をもって、来年度以降も自然を満喫できる活動に繋がりたいと思います。

お問い合わせ先

〒698-0203 益田市美都町都茂  
地域自治組織 ささえ愛都茂  
【事務局】美都分庁舎2階  
TEL・FAX  
0856-52-3025



SASAEITSUMO

# 島根県益田市二川地区

地域づくりのテーマ： 自然とともに 人とともに生きる 温もりある二川



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口145人、世帯数85、高齢化率61.4%(令和7年12月末時点)

### 【地区の魅力】

美都温泉、道の駅による集客に加えて、柴犬の聖地として新しい人の流れができつつあります。令和5年度からは宿泊交流センターの運営が始まり、人ととどめてつなげる拠点として活用していきます。

### 【地区の課題】

高齢化により地域で受け継がれてきた生活の知恵が引き継がれることなく消滅しつつあります。また、地域行事に関わる人材不足も深刻で、関係人口の創出が急務です。限られた人口の中で生活を維持し続ける体制も考え直す必要があります。

## ②実施団体の概要

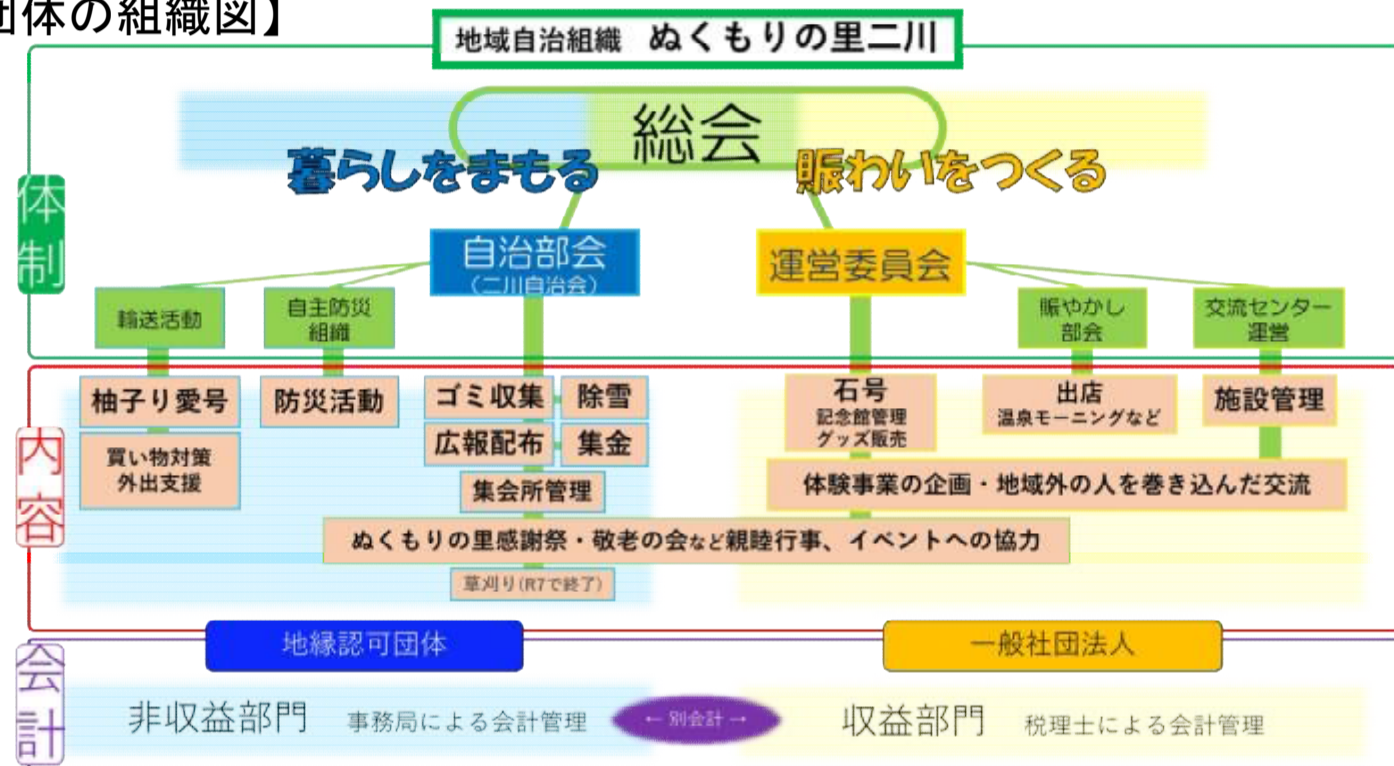
### 【団体の名称】

ぬくもりの里二川

### 【構成団体、構成員】

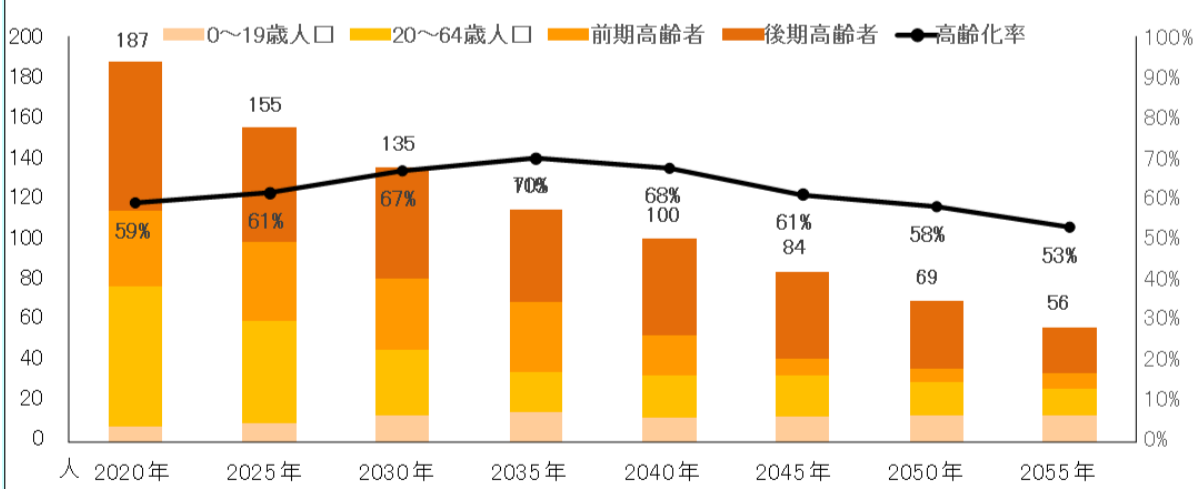
自治会  
婦人会  
老人クラブ  
美都温泉  
道の駅  
営農組合蓬の会(加工グループ)  
公民館  
地区住民

### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション

### 【現行推移】総人口・高齢化率 益田市 二川地区



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

◇宿泊交流センターの管理運営  
体験事業

◇住民の住みやすさ  
自治会機能  
買物支援  
外出の機会創出  
困りごと相談

◇地域の賑わい  
温泉モーニング  
イベントでの出店販売

◇特産  
柴犬の里の整備

### 【団体長メッセージ】

宿泊交流センターは、二川地区にもたらすメリットだけでなく、市内全域の交流や関係人口が増えるための施設として活用していきます。地域へのご協力のお願いとともに、近隣のみなさまにもご利用と、活用方法のご提案をお待ちしております。



# 島根県益田市二川地区

## ⑤こんなことが話し合われています

### 【運営体制】

今年度は自治組織と自治会を統合。非営利部門と営利部門に分けた新体制としました。

今後はこれまで別々に徴収していた会費の調整が必要です。

### 【体験事業の見直し】

宿泊交流センターを知ってもらうために体験行事を5回行いました。もっと面白くするためのブラッシュアップ、新しいことができないか、地元スタッフが楽しんでできるように更新しています。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



美都温泉で月一回のうずめ飯モーニングは今年で8年目。キャンピングカーで来られる常連の方もできました。

利用ごとにスタンプをためると美都温泉の入浴券として使うことができるようにしています。



姉妹都市である川崎市と高槻市が施設を利用されました。特に川崎市とは2泊3日の行程中に、地元小学生との交流を行いました。

総勢約60人で鮎のつかみ取りと川の生態観察、木工体験、体育館でのゲームをして過ごしました。



石号記念館では、お気に入りの写真で作られる缶バッジの申し込みを行っています。また、事業継続のために募金を募っています。

募金を使い、11月2日の石号誕生日に4回目となる花束の贈呈と、市内の小中学校に絵本「石号ものがたり」を送りました。

お問い合わせ先

〒698-0202 島根県益田市美都町宇津川口386-3  
益田市立宿泊交流センター内 ぬくもりの里二川 事務局  
TEL: 070-4172-5366  
メールアドレス: nukumori-sato@maro-v.jp  
ホームページ: <https://nukumori-sato-futakawa.com>

# 島根県益田市匹見上地区

地域づくりのテーマ：自然とともに澄み（住み）続けたい郷づくり



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口：526人 高齢化率：64.3%（令和7年12月末時点）  
世帯：347世帯 面積：154.12km<sup>2</sup>  
標高：365m  
連合自治会：匹見中央連合自治会、落合連合自治会  
自治会：23自治会 商店：4店舗（農協1、地元商店3店舗）

### 【地区の魅力】

西中国山地国定公園の裏匹見峡をはじめとした豊かな自然  
1000mを超える山々、綺麗で澄んだ川の清流  
清流で育つ鮎 映える紅葉  
夜空に光る満天の星  
縄文時代を中心とした数多くの遺跡  
産物：わさび、鮎、木工用品（パズル、器、木製山葵おろし器）

### 【地区の課題】

担い手不足 鳥獣被害 人口減少と高齢化  
交通弱者の通院や買い物 空き家や耕作放棄地の活用

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

匹見上 清流の郷（R1.9.27設立）

### 【構成員】

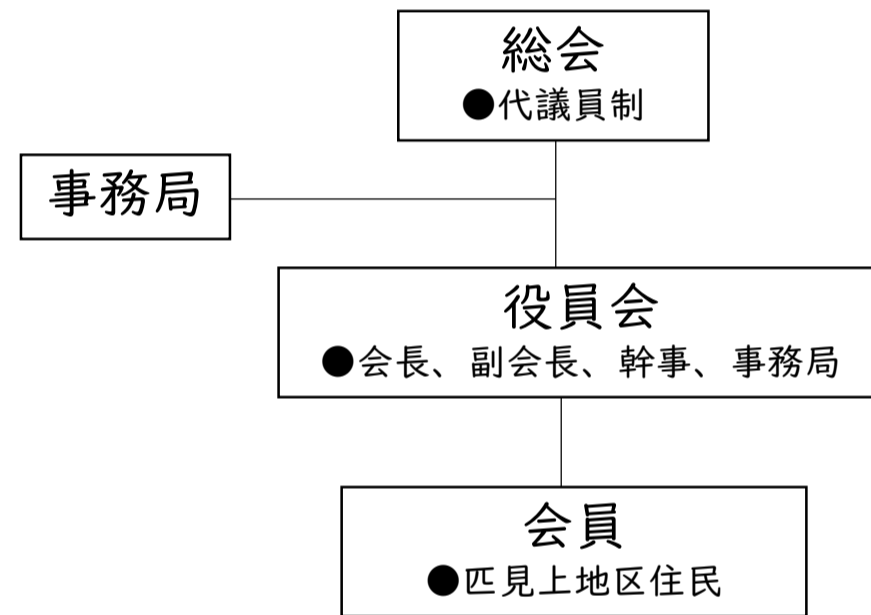
会長1名、副会長2名、幹事7名以内

### 【関係機関】

自治会（23自治会）

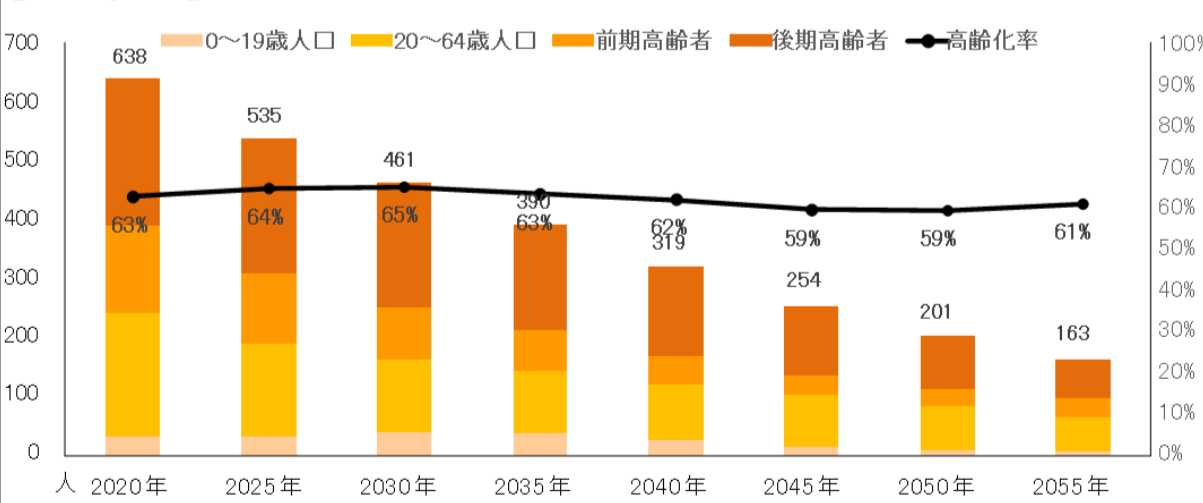
江田自治会	半田自治会	萩原自治会	山根下自治会
山根上自治会	植地自治会	正下地自治会	野入東自治会
野入西自治会	荒木自治会	元組自治会	岡本自治会
野田自治会	石組自治会	小原自治会	七村自治会
笹山自治会	三葛自治会	千原自治会	戸村自治会
道谷下自治会	道谷上自治会	矢尾自治会	

### 【団体の組織図】（規約に示されているもの）



## ③地区の人口シミュレーション

### 【現行推移】総人口・高齢化率 益田市 匹見上地区



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組（概要）

### ◎地域活性化助成金制度（今年度実績：12件）

- ・各種団体、関係人口による地域活動に対して助成を行うことで魅力的な地域づくりを促進させ地域振興に繋げる
- ・地域住民の“やってみたい、やりたい”を応援する

- ①三葛自治会景観・美化事業
- ②maybe today. ~HITME~
- ③集落環境維持保全（獣被害対策事業）
- ④ごみ株伏せ込み体験
- ⑤maybe today. ~HITME~
- ⑥匹見保育所夏祭り
- ⑦匹見こども森の自然学習事業
- ⑧比田井 和孝先生 講演会
- ⑨こばらで交流イベント（豆腐で集う）
- ⑩有害対策事業①
- ⑪有害対策事業②
- ⑫みんなで無添加キムチを仕込もう！

## 団体長の写真



## 【団体長メッセージ】

本会設立から7年が経過します。お陰様で、昨年から新たに始まりました「地域活性化助成金制度」は匹見上地区の多くの方々に活用して頂いております。令和5年度のまちづくりプランの改定時には、地域住民の方とワークショップを行い、自分たちの住む地域で「楽しくワクワク過ごすためには何が必要なのか」を参加者皆さんで話し合い、意見を出し合いました。地域住民同士が話し合っ、自分事として必要な事は何かを考え、行動し、住み（澄み）続けることのできる町づくりをこれからも目指していきます。

# 島根県益田市匹見上地区

## ⑤こんなことが話し合われています

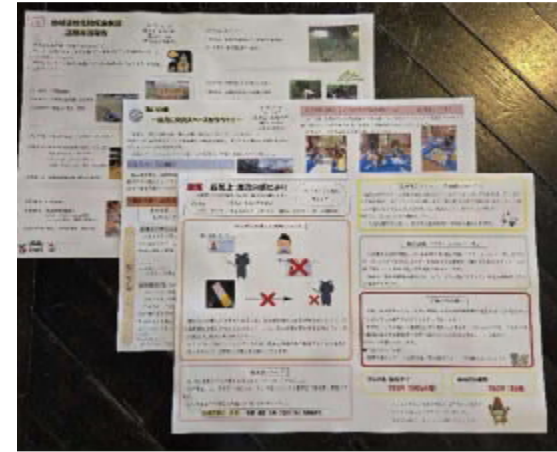
- ◎総会  
令和6年度活動報告 実績報告 令和6年度収支決算報告（監査報告）  
代議員退任報告 規約改正（案）第2期まちづくりプラン（案）  
令和7年度事業計画（案） 令和7年度収支予算（案）



- ◎役員会  
地域活性化助成金制度について（申請・実績報告等協議）  
交流スペース作製について  
便りについて  
年間計画について

## ◎益田市乗り合いタクシー匹見線関連

- ◎第2層協議体（支え合い協議体）※益田市社会福祉協議会匹見支所主催  
ささえあいの仕組みづくり～ありがとう便～ 益田市乗り合いタクシー匹見線乗車体験



## ⑥こんな地域づくりを行なっています

匹見上地区で活動したい団体を応援！

### 地域活性化助成金

どのように使うの？  
このように使ってもらったよ！

▼令和6年度の申請内容▼

- 大型物品購入！
  - ・扇風機（高齢対策）
  - ・電気止め刺し（高齢対策）
  - ・刈払機（自治会環境保全）
  - ・プロアパー、高枝のこぎり（自治会環境整備）
- 講師・指導費！
  - ・そば打ち体験指導（地域交流イベント）
  - ・字び、体験交流会指導（小学生体験事業）
  - ・伝統継承指導（和紙作り体験※産業文化祭にて）
- 消耗品その他購入品！
  - ・チラシ印刷代（小学生体験事業）
  - ・ヨーヨー、駄菓子（保育所夏祭りボランティア）
  - ・原料代、道具貸借代、圧縮機作（和紙作り体験）

助成額：上限5万円 申請・相談  
申請対象者：団体（自治会・グループ） 大歓迎！

お問合せ先 ▶▶ 匹見上 清流の郷 事務局 ☎56-1144（匹見上公民館内） 担当：横谷



## ◎地域活性化助成金制度

1年目より申請件数が増えてきており、次年度も行っていきたい。

## ◎免許取得補助

畑や収穫前の野菜や果樹などへの鳥獣被害対策として高齢者にも手軽に使用出来る煙火花火を使用する為の講習会に参加しやすくまた多くの方に資格取得しやすい環境を整えるため煙火花火講習会受講料を補助する。取得者29名。

## ◎煙火花火販売

事務局にていつでも購入できるようにしている。

## ◎情報発信

匹見上清流の郷だよりを今年度も作成した。あわせて地域活性化助成金制度の活用状況報告と交流スペース進捗状況を作成し地域にお知らせした。だより、地域活性化助成金制度の活用状況、交流スペース進捗状況はInstagramでも紹介した。

## ◎視察研修

地区の課題解決に向け、他地区の自治組織の取り組みや事業を聞き参考にさせてもらい、今後に繋げる。今年度は防災関連として二条里づくりの会での身近な防災について、益田市広域消防本部の見学をさせてもらった。

## ◎物品購入支援

近くで購入できるように支援対策として、現在はだしの素を販売。令和4年から累計136個販売している。

## ◎協賛事業

匹見上健康づくりの会・公民館主催の春、秋グラウンドゴルフ大会に会長賞として匹見峡温泉施設利用券を提供し、地域の健康維持等に協力させてもらっている。2月に行うユニカール大会へも提供をしている。匹見こいこい夏祭りへの寄付を行い地域の祭りの存続のため協力している。

【匹見上 清流の郷 事務局】  
〒698-1211  
益田市匹見町匹見イ674（匹見上公民館内）

【Instagram】【フェイスブック】

お問い合わせ先

TEL：0856-56-1144  
FAX：0856-56-0932  
Mail：Seiryu\_no\_Sato@outlook.jp



# 島根県益田市匹見下地区

地域づくりのテーマ: ささえ愛 笑顔がつくるいいの里



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口、高齢化率(令和7年1月末時点)  
人口 193 人 高齢化率 69.9 %

### 【地区の魅力】

匹見川、中国山地の自然と豊かな恵み  
そこに暮らす人々のやさしさと支えあい

### 【地区の課題】

少子高齢化による過疎  
高齢者の移動手段の確保と買い物支援  
地域住民の健康づくりと生きがい対策、生活不安の解消、  
集落の運営、担い手の確保、空き家対策、農地の維持管理  
など課題は山積み。

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

匹見下いいの里づくり協議会

### 【設立年月日】

平成28年4月24日

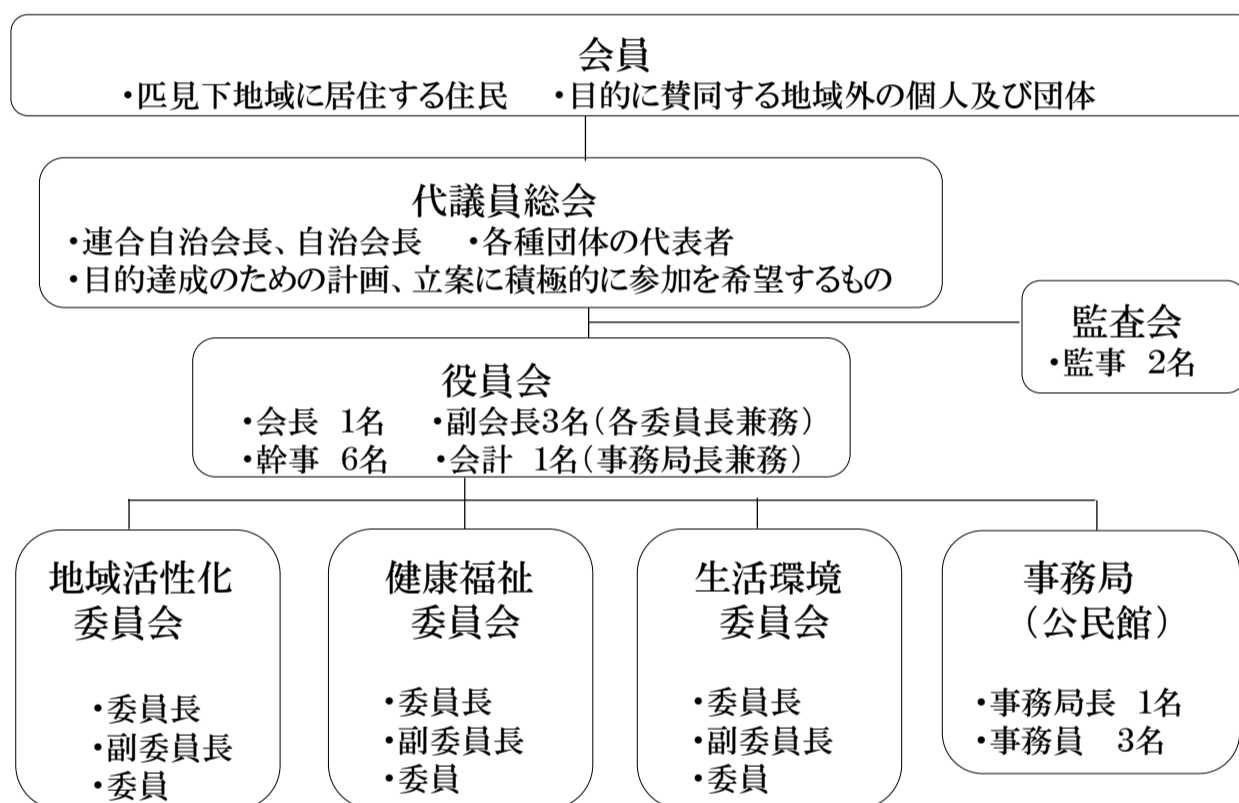
### 【構成団体、構成員】

- ・各連合自治会(4) 澄川寿会、内谷寿会
- ・各自治会(17) 関係団体(8)
- ・匹見下猟友会 賛助会員(個人)
- ・高齢者サロン(1)

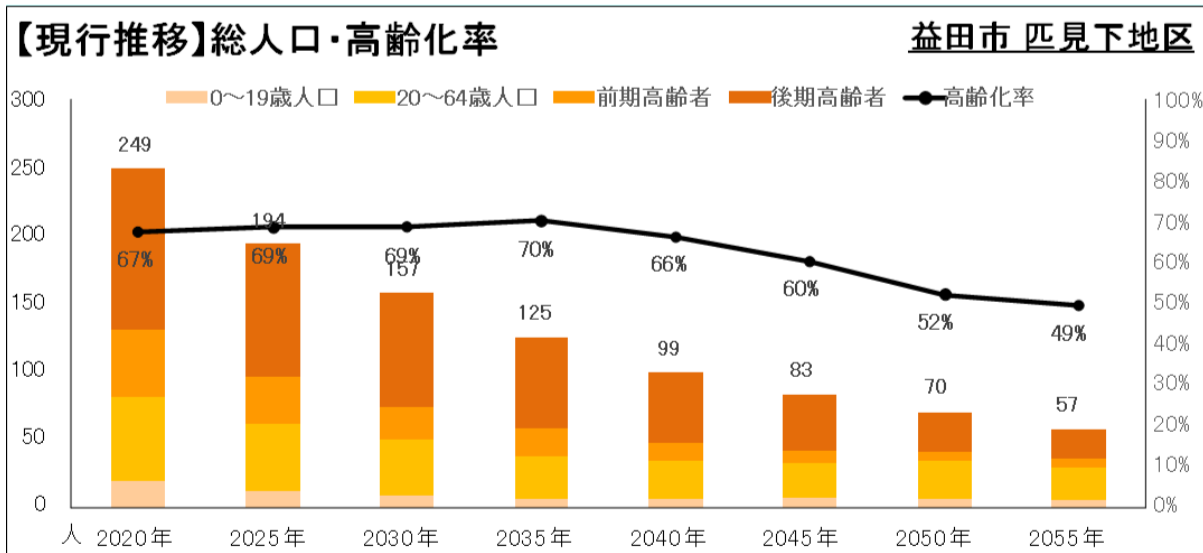
◎構成44団体の代表者や個人会員を代議員とし、この代議員で3つの委員会を作り、協議会の事業に取り組む。

- ・「地域活性化委員会」
- ・「健康福祉委員会」
- ・「生活環境委員会」

## 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

- ・地域の子供たちの成長と、地域住民のうるおいづくり  
「いいの里っ子塾」の開催
- ・地域住民の健康と交流の場づくり  
いきいき百歳体操…公民館を含め5会場で開催  
グラウンド・ゴルフ…ナイター5回、昼間1回開催
- ・人とのつながりを大切に、思いやる心を育む地区のイベント  
ユニバーサルスポーツなどを楽しむレクリエーション大会
- ・匹見下ふるさと祭り…1日を通しての住民交流
- ・地域資源を利用した世代間交流  
「田躰子の復活」「とちの実交流会」「匹見町音頭」
- ・匹見町(匹見上、匹見下、道川)3地区と協力した取り組み  
「匹見地域の未来を考える研修会」「匹見地区つろうて子育て協議会」など



### 【団体長メッセージ】いいの里づくり協議会 寺戸 倉雄会長

匹見下地区の活動を通して、互いに顔を合わせ、語り合うことで、自然と笑顔が生まれています。5会場で展開している百歳体操は、地域で安心して暮らし続けるための大切な拠点としての役割を担っています。こうした場を通じて、地域が抱える課題や、その解決に向けた糸口を見いだすことができます。今後は、「自分たちがやりたいこと」について話し合いながら、今できることを無理なく、そして楽しみながら実行していきたいと考えています。

# 島根県益田市匹見下地区

## ⑤こんなことが話し合われています



### いいの里づくり協議会 定期総会

事業報告、収支報告、事業計画、収支予算などが質疑応答後、承認された。

地域活性化委員会、健康福祉委員会、生活環境委員会の3つの委員会も、それぞれの役割を再確認した。

### 地域活性化委員会

- ・交流人口の拡大  
匹見下ふるさと祭り、川遊び事業、INAKAライド、おかえり幟旗
- ・U・Iターン者の拡大と定住  
ふるさとマップづくり、いいの里っ子交流会と世代間交流
- ・地域資源の発掘と継承  
名勝・旧跡・歴史文化の調査と情報発信、伝統文化の継承と支援
- ・生活の潤いづくり  
映画館や美術館等の鑑賞支援

### 健康福祉委員会

- ・交流  
レクリエーション大会、サロン活動等
- ・医療(健康づくり)  
医療、健康に関する教室・講演、いきいき百歳体操、血圧測定と健康管理の啓発活動、健康ますだ市21推進協議会との連携
- ・スポーツ  
ウォーキングの取組み、ユニバーサルスポーツ、グラウンド・ゴルフ大会
- ・益田保健所との健康寿命延伸PJ開始。

### 生活環境委員会

- ・鳥獣被害対策  
動物駆除用花火の講習
- ・地域の防災・防火防犯対策  
応急救護講習、研修会・勉強会の開催、消火器・火災警報器・告知放送端末の点検
- ・交通弱者への対応  
地域公共交通講演会の開催
- ・買い物不便対策  
ショップいいの里の運営、生協しまねとの協同による買い物支援

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



### 地域活性化委員会

- ・いいの里っ子交流会・・・ボッチャのルールを学び、楽しみ方を深めた。
- ・おかえりなさい旗・・・GW、盆、正月に帰省者歓迎の旗を立てている。
- ・とちの実交流会を匹見小学校全学年を対象に土曜日に開催。交流を深めた。
- ・匹見下ふるさと祭り・・・須子神楽社中による神楽、和太鼓“結”、各種団体による飲食ブースなどが並び盛況だった。太鼓演奏では、地元の子どもたちと即興で共演し、大喝采となった。また、復活を目指している田囃子も有志が歌い、太鼓を叩き、参加住民も声を合わせ、懐かしんだ。

### 健康福祉委員会

- ・レクリエーション大会・・・ボッチャ、モルック、スポーツ吹き矢、グラウンドゴルフ、玉入れなどを実施し、どなたでも楽しめるよう工夫。
- ・いきいき100歳体操・・・公民館、広瀬、石谷、持三郎、土井ノ原の5地区で開催。より身近な場所での開催により、一人でも多くの方に参加して頂いている。
- ・グラウンド・ゴルフ大会・・・ナイター5回昼間1回実施。
- ・地域内2か所で、ウォーキングイベントを開催。春風、秋風の中、健康的で楽しいひと時となった。

### 生活環境委員会

- ・買い物支援・・・生協しまねとの協同による買い物支援も2年目を迎え、運営も軌道にのった。11月には、買い物困難な2地区で新たに住民説明会を開催。集約した意見を基に今後の展開を協議中。
- ・移動支援・・・やまびこバスなどの利用体験会を企画していたが匹見線廃止により延期。代わって、地域公共交通講演会(講師:加藤名古屋大学教授)を匹見3地域自治組織で開催した。
- ・地域の防災研修会・・・石西防災研究所・伊藤氏により、避難所用テント、段ボールベッドなどの組み立て等を学ぶ。

### ☆匹見下いいの里づくり協議会☆

☎ 698-1221 益田市匹見町澄川イ327 (匹見下公民館内)

☎ 0856-56-0910 ☎ Fax 0856-56-0912

ホームページ <https://hikimi-kurashi.jimdofree.com/>

facebook [https://www.facebook.com/masudashi.hikimishimo?locale=ja\\_JP](https://www.facebook.com/masudashi.hikimishimo?locale=ja_JP)

お問い合わせ先

# 島根県益田市道川地区

地域づくりのテーマ: 輝け笑顔! 生まれ絆! 行くぞ道川! ~出会い ふれあい 助け合い~ 笑顔がつなぐ明日の道川



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口:90人 高齢化率:66.7% 世帯数:55戸  
(令和7年12月末時点)

### 【地区の魅力】

四季折々の美しい景色、豊かな自然が広がっており、住民は、それぞれの暮らしを大切に、その技術や知識を次世代に受け継いでいます。地域の祭りや行事、石見神楽など、古くから続く伝統があり、それらが地域コミュニティを結びつける重要な要素になっています。道川地区は、自然の息吹を感じられる美しい景観と、歴史・伝統が調和した魅力的な地域です。

### 【地区の課題】

冬場の自然環境の厳しさや高齢化による生産基盤の脆弱、除雪の負担、移動手段の困窮、医療介護の不安等多々あります。

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

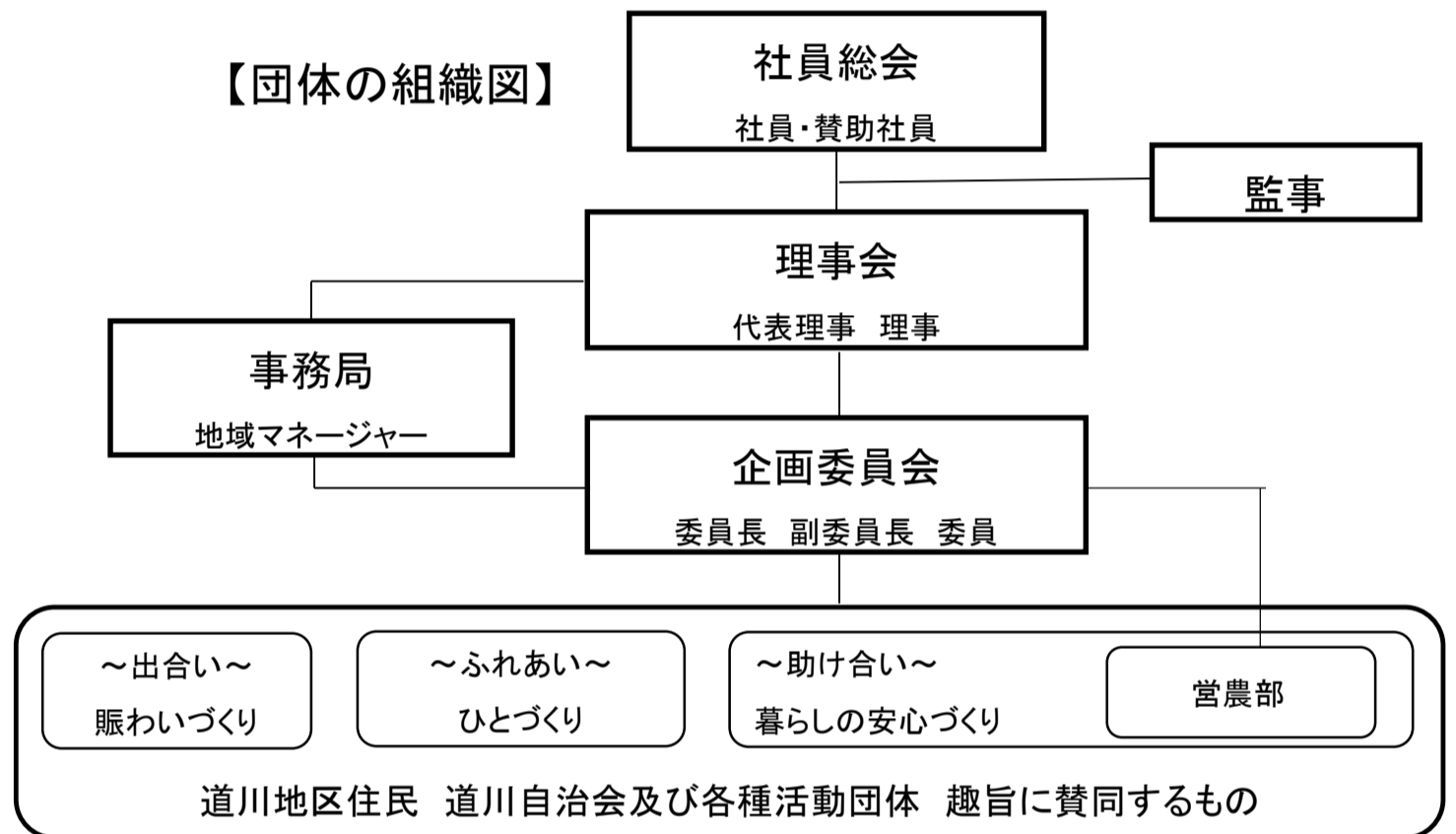
一般社団法人 道川地域づくりの会

### 【構成団体、構成員】

- 道川地区の全住民、■趣旨に賛同するもの
- 地域で活動する各種団体及びグループ

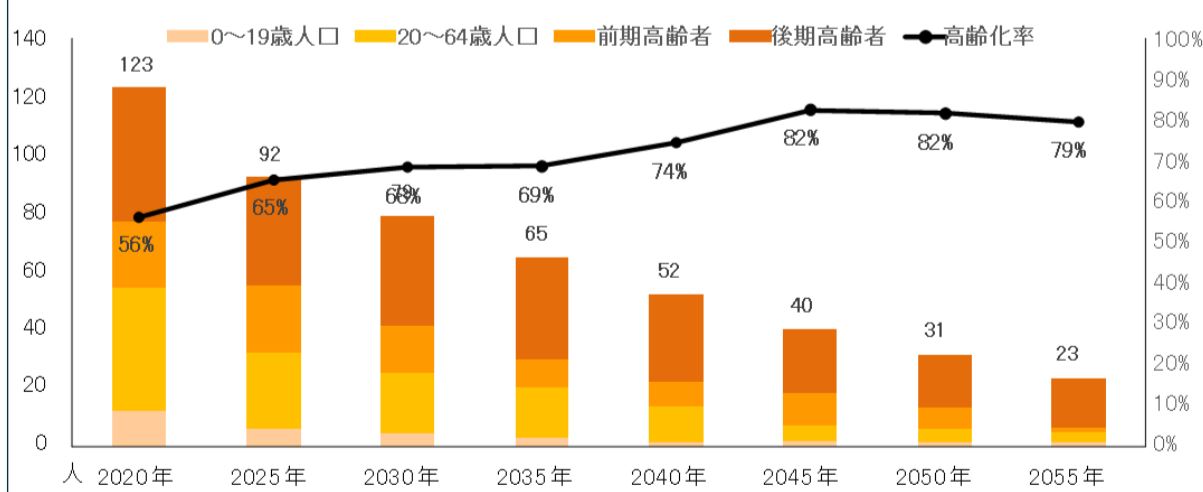
- ・自治会(下道川下、下道川上、出合原、元組、臼木谷、日の里)
- ・寿会
- ・民生児童委員
- ・道川囃子田保存会
- ・地区民交流実行委員会
- ・人権同和教育推進協議会
- ・猟友会
- ・青少年健全育成協議会
- ・出合の里みちかわ
- ・地域安全推進協議会
- ・交通安全対策協議会
- ・道川神楽社中
- ・盆踊り実行委員会

### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

豊かな自然や特色を活かしながら、「住む人」「来る人」の出会いにより、地域の賑わいを創出し、お互いの助け合いやふれあいをとおして、いきいきと安心して暮らすことが出来る地域を目指します。

～目標を達成するための3つの取り組み～

### ◆～出会い～ 賑わいづくり...

- ・人が集まる機会を創る活動
- ・地域の宝を活かす活動
- ・里山の景観を活かす活動

### ◆～ふれあい～ひとづくり...

- ・歴史文化をつなぐ活動
- ・地域のつながりを育む活動
- ・ひとりひとりの個性を育む活動

### ◆～助け合い～暮らしの安心づくり...

- ・暮らしを守る活動
- ・生活環境を守る活動
- ・農地を守る活動(営農部)

### 【団体長メッセージ】

今年、農地バンクを活用し、地域の農地を地域で守る取り組みがスタートします。また、準備が整い次第ですが、風力発電の工事がいよいよ始まることとなっています。温暖化防止の為に、自然エネルギーへの移行は必須と考えています。世界は自己ファーストの身勝手に無責任な風潮が高まっていますが、和をもって、みんなで楽しくやっていきたいものです。



# 島根県益田市道川地区

## ⑤こんなことが話し合われています



総会

「道川地域づくりの会」総会、年間活動計画、予算の承認  
★ 主な話し合いの内容 事業企画、運営、実施について

### 【運営】

R8からスタートする第3期まちづくり計画の策定  
(一社)による営農の仕組みづくり、

### 【賑わいづくり】

○地域資源を活用して、歴史・文化を発信する魅力アップ活動  
○魅力ある景観、整備活動

里山保全及び川辺の広場維持、管理等

### ○情報発信

### 【暮らしの安心づくり】

○安心、安全、支え合いのつながりづくり

○環境、農地を守る仕組みづくりについて

### 【ひとづくり】

○地域内交流(世代間交流)事業



企画委員会



第2期の活動のふりかえり(交流会の際)

## ⑥こんな地域づくりを行なっています

### ～出会い～ 賑わいづくり



道川春まつり

「山里に春がきた～！」この春祭りから地域の活動がスタートする心躍るイベントとして開催。年々、地域の出店は減少しているが、他地区からの応援出店、地域外の方の協力もあり、400名以上の来場で賑わう。

### ～ふれあい～ ひとづくり



道川親睦交流会

各世代を交えて学び合い、地域のつながりを強固にすることを目的に開催。今年はスウィングフェニックスの演奏を心底楽しんだ後、5ヶ年の活動を振り返り、地域の強みを再認識した。

### ～助け合い～ 暮らしの安心づくり



生活・交通安全教室

社協との協働事業として、シニアカーの体験教室を実施。自動車免許返納に不安を感じている住民も多く、益田警察署の協力もいただき、移動手段の一つとして考える良い機会となった。

### 落語会In美濃地屋敷



地域のシンボルである美濃地屋敷を活用して、真打を招いて、落語会を実施。組織としては初の興行。多くの課題と今後につながる手ごたえを感じる活動となった。

### 道川の魅力再発見&健康ウォーク



コロナ禍でイベント等が出来ない中、地域資源の掘り起こしとして始めた歴史勉強会からの発展。年々住民の参加も増え、健康づくりと学び合いが一体化している。

### 地域の農地を守る



昨年度から研修会を行いながら住民の理解を得てきた。今年度、営農部を発足。来年度からの本格的スタートと農村RMOの確立に向けて基盤整備を進めている。

お問い合わせ先

〒698-1201

島根県益田市匹見町道川イ133-1 清流会館

一般社団法人道川地域づくりの会(事務局:道川公民館内)

TEL:0856-58-0001 FAX:0856-58-0002

ホームページ <http://michikawa.info/>

公式LINE  
道川ファンクラブ  
友達追加QRコード



発行 令和8年3月

発行元 益田市政策企画局地域振興課

〒698-8650 島根県益田市常盤町1番1号

TEL 0856-31-0600

FAX 0856-23-7708

E-Mail : [chiiki@city.masuda.lg.jp](mailto:chiiki@city.masuda.lg.jp)